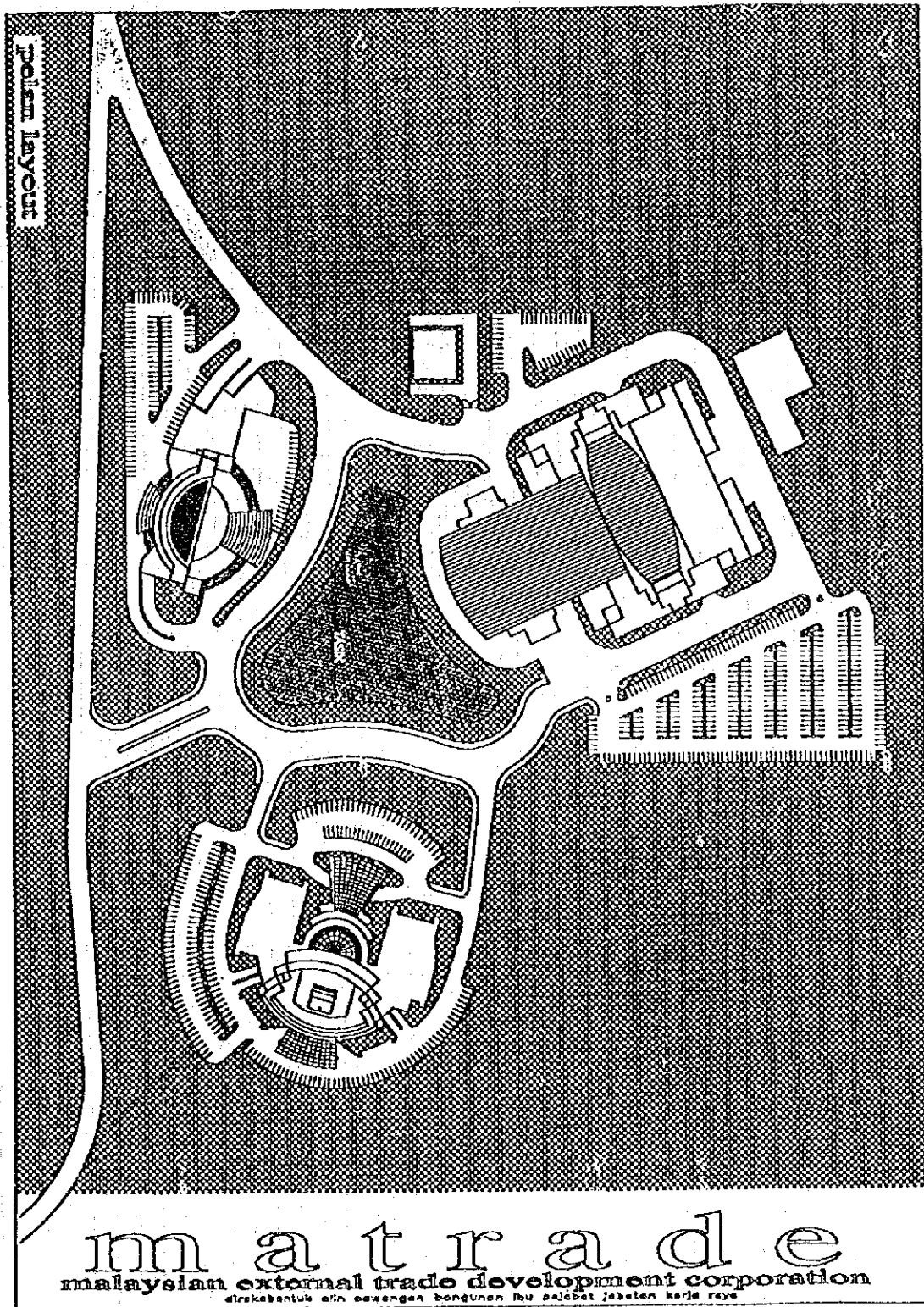
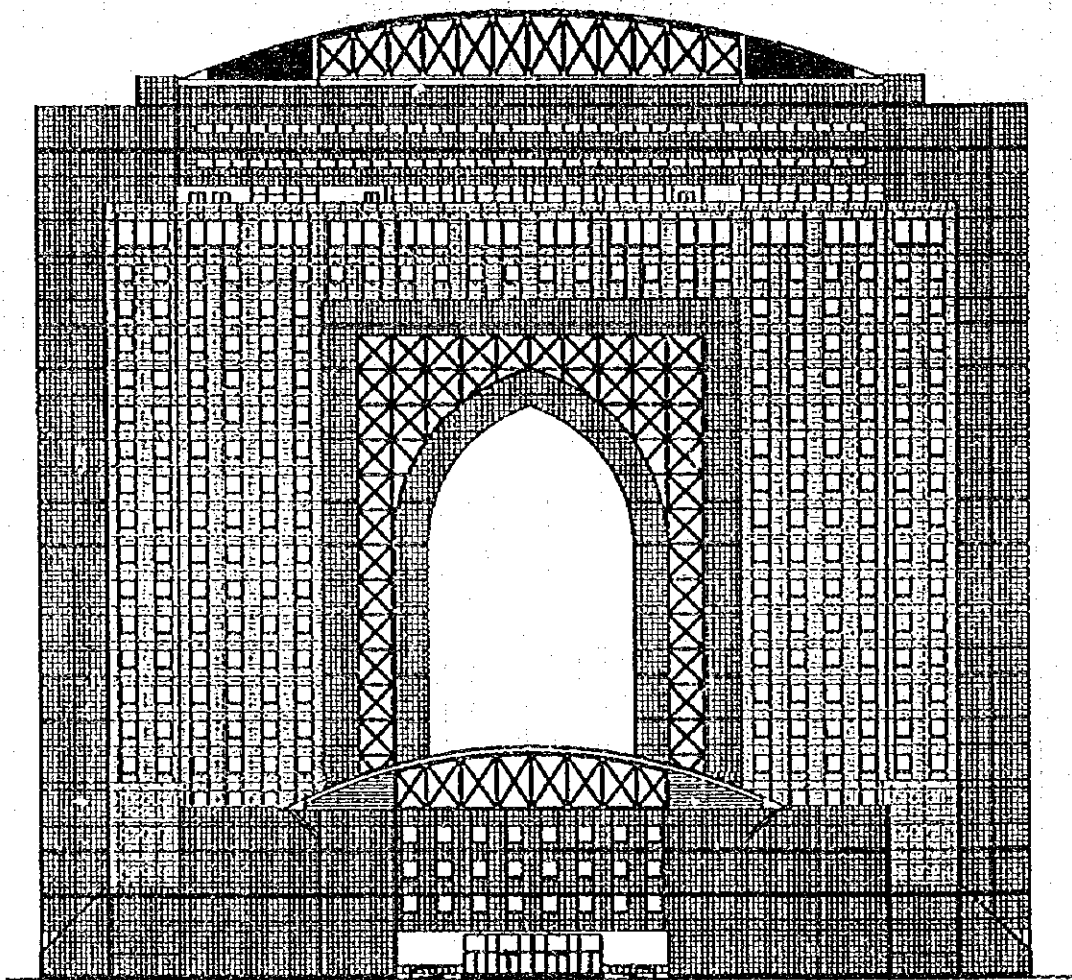


資料4. MATRADE 新ビル予定図

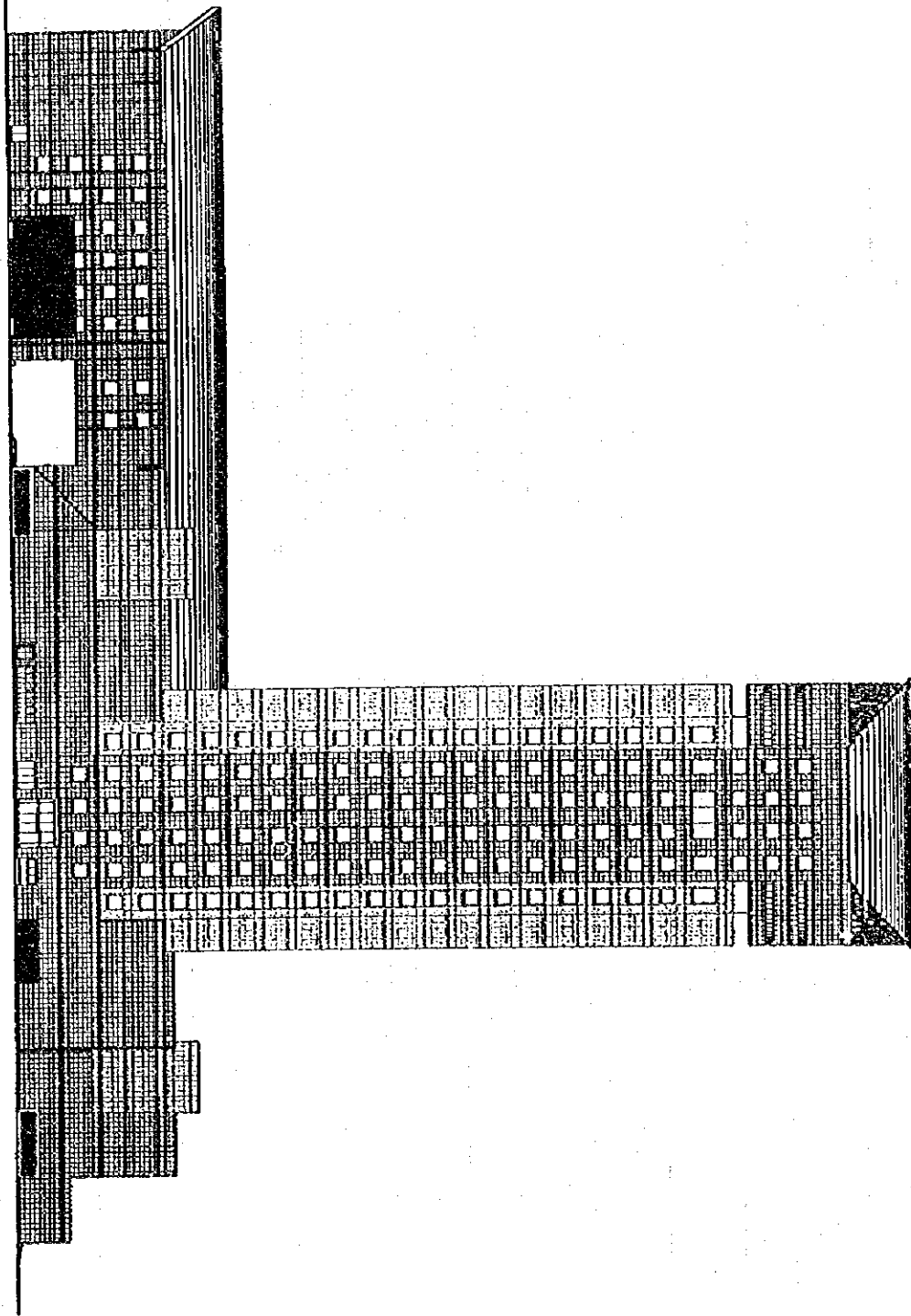




tampak hadapan

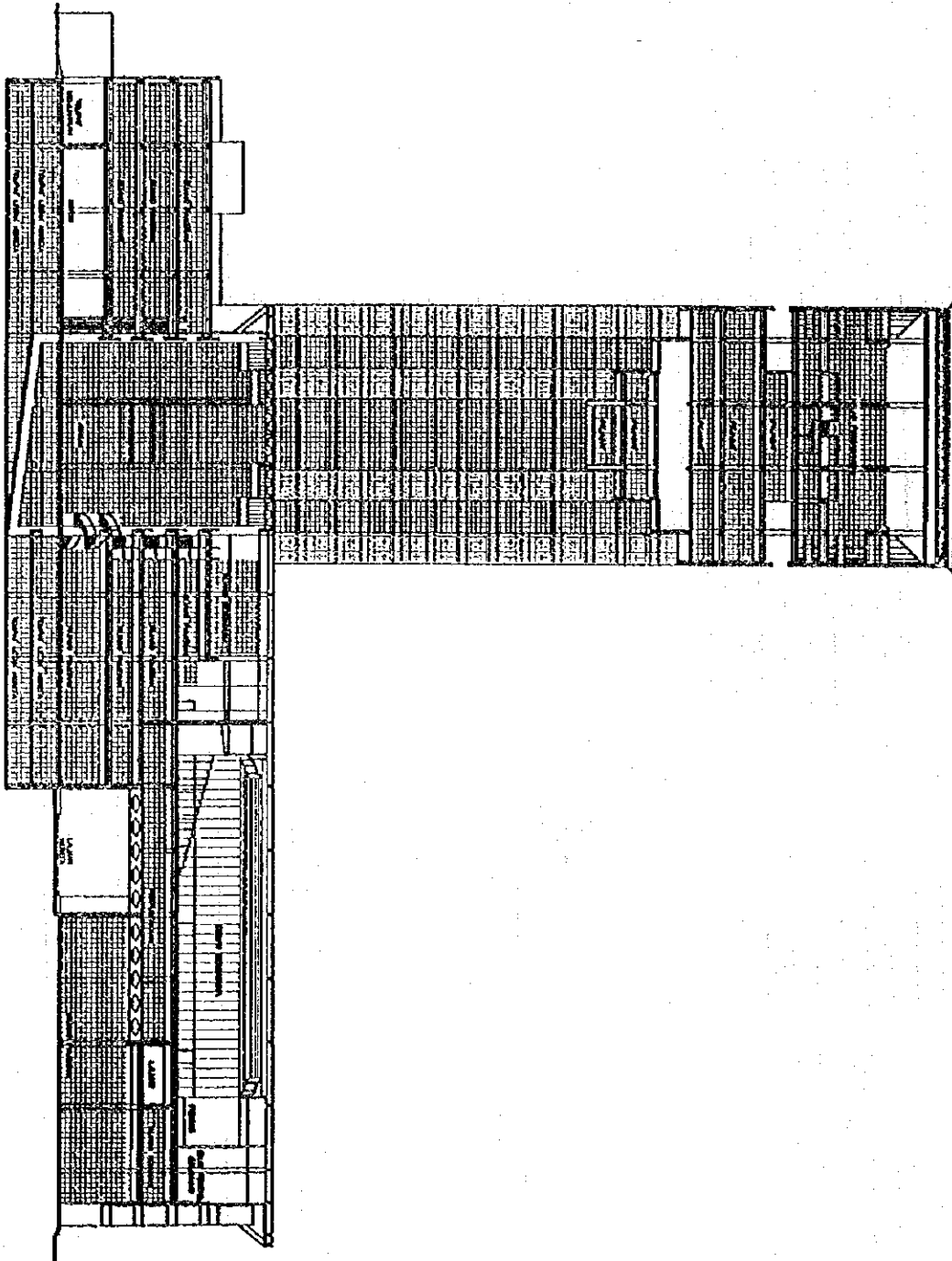
im a t r a d e  
malaysian external trade development corporation  
dirakibentuk oleh kerajaan bangsaya ibl pejabat jabatan perdagangan

tanah Paksi Kemaman

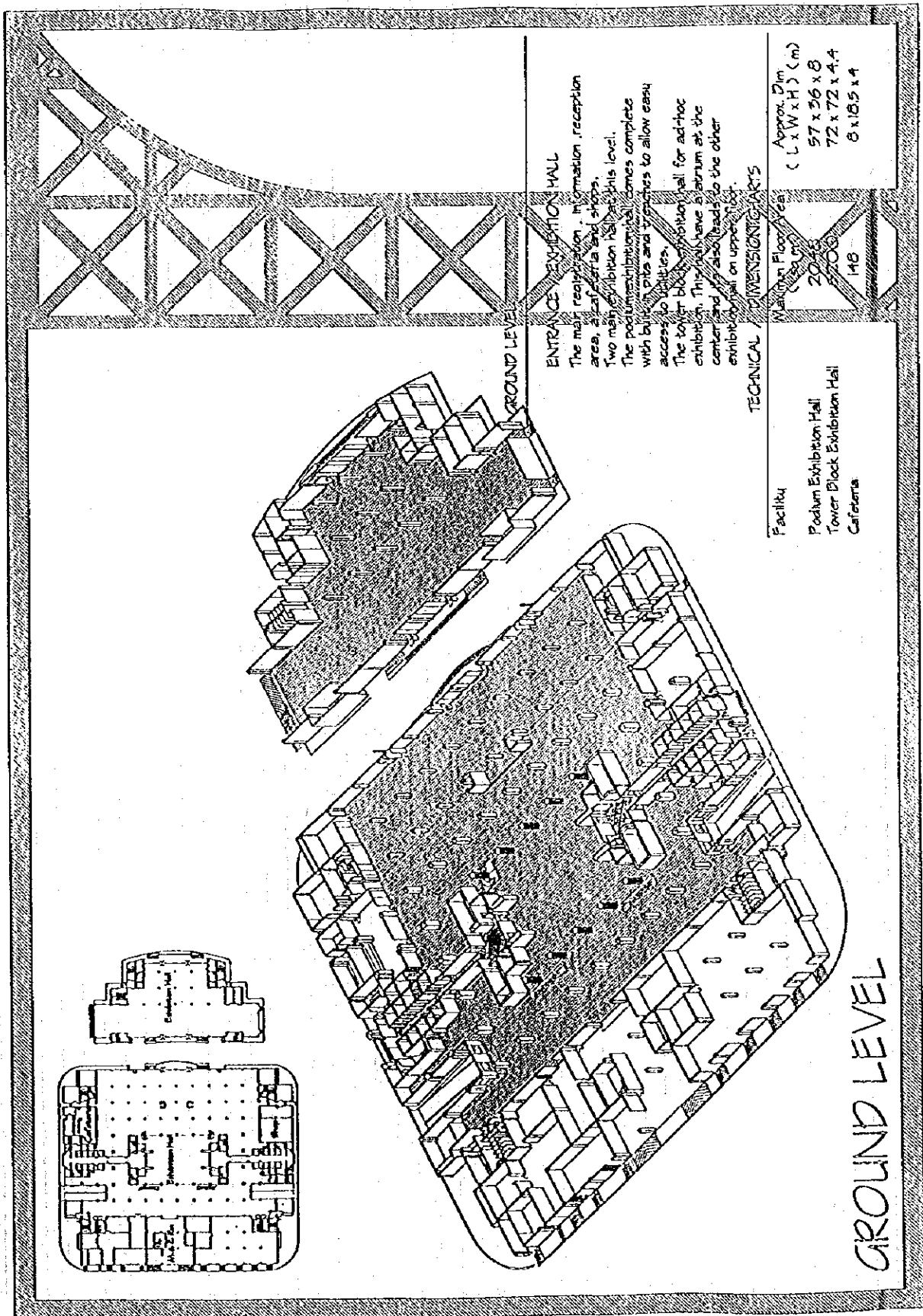


m a t r a d e  
malaysian external trade development corporation  
direkabentuk oleh Sarangan Binaan Leupajerin "Jabatan Kerja Raya"

Ikeratan did



m a t r a d e  
malaysian external trade development corporation  
dirikebentuk oleh kerajaan berzaman itu pejabat jabatan kerja raya



**ENTRANCE EXHIBITION HALL**

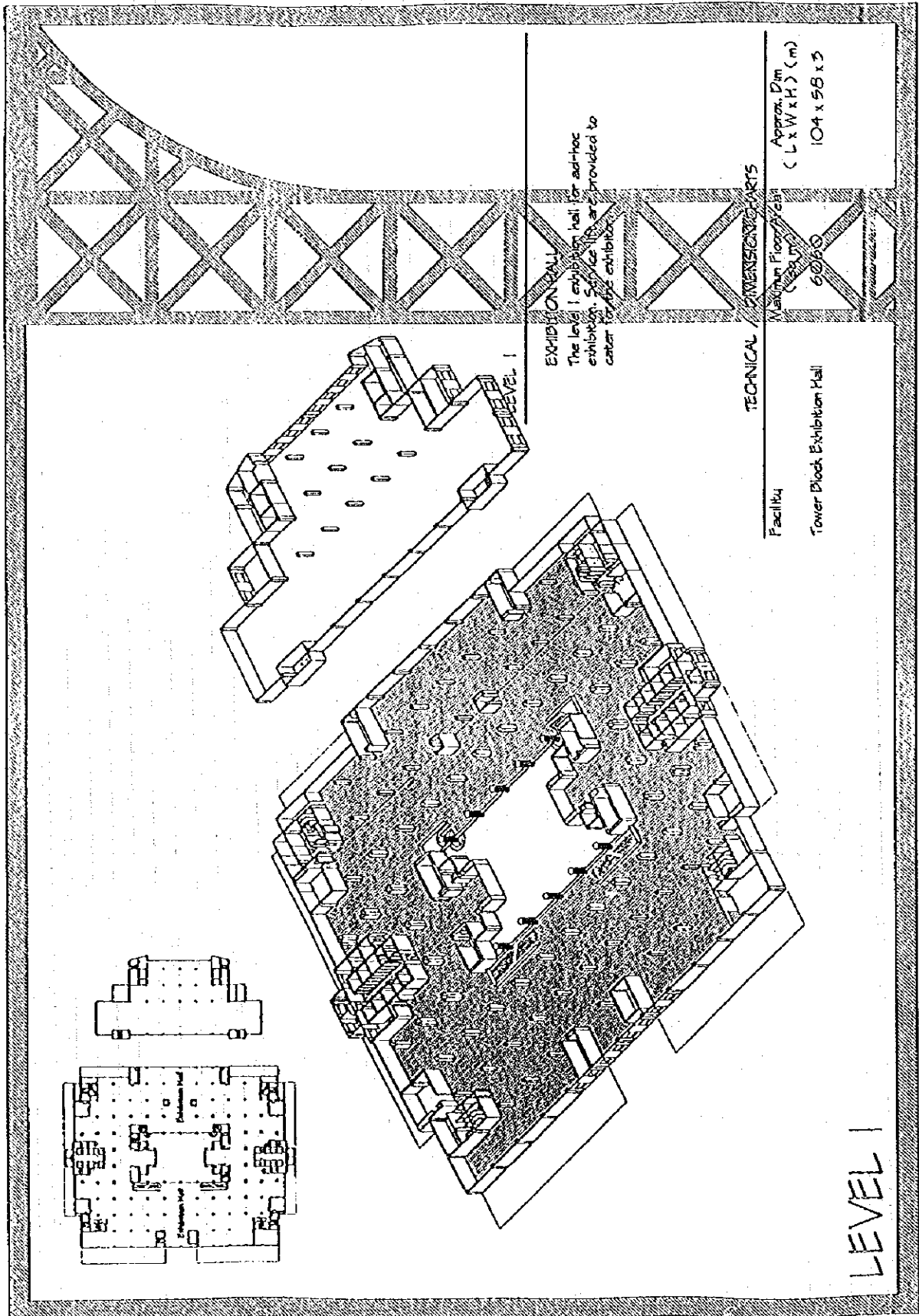
The main registration, information, reception area, cafeteria and shops. Two main exhibition halls at this level. The podium exhibition hall comes complete with built-in pits and trenches to allow easy access to vehicles. The tower block exhibition hall for ad-hoc exhibition. This hall have a platform at the center and also leads to the other exhibition hall on upper floor.

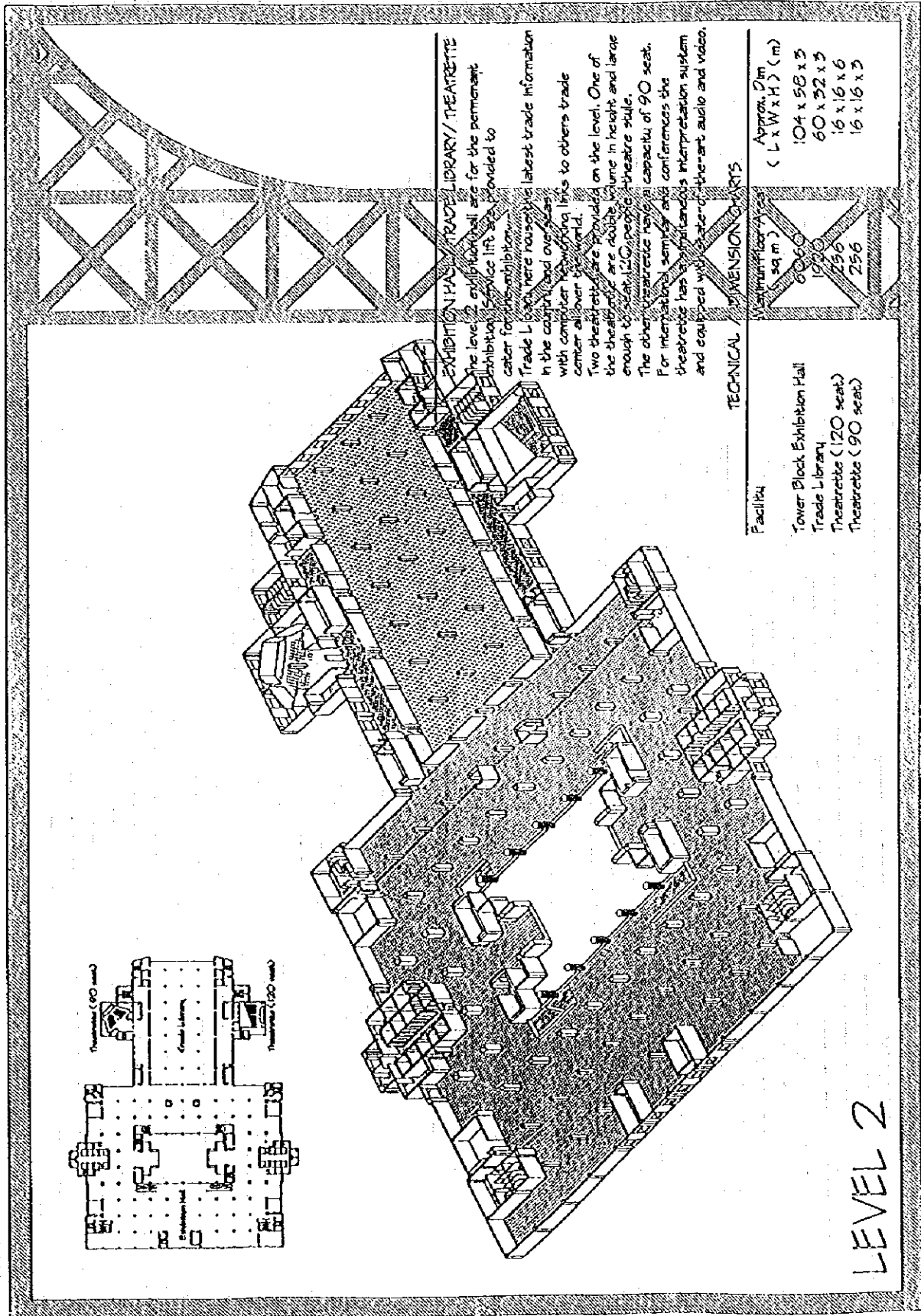
**TECHNICAL / DIMENSIONAL PARTS**

Maximum Floor Area (sq. m)	20,000
Approx. Dim (L x W x H) (m)	57 x 36 x 8 72 x 72 x 4.4 6 x 18.5 x 4

- Facility
- Podium Exhibition Hall
  - Tower Block Exhibition Hall
  - Cafeteria

GROUND LEVEL





**EXHIBITION HALL / TRADE LIBRARY / THEATRETTE**  
 The level 2 exhibition hall is for the permanent Exhibition Service lift, provided to cater for non-ambulatory.

Trade L (90 seats) houses the latest trade information in the computer and over seas with computer working links to others trade center all over the world.

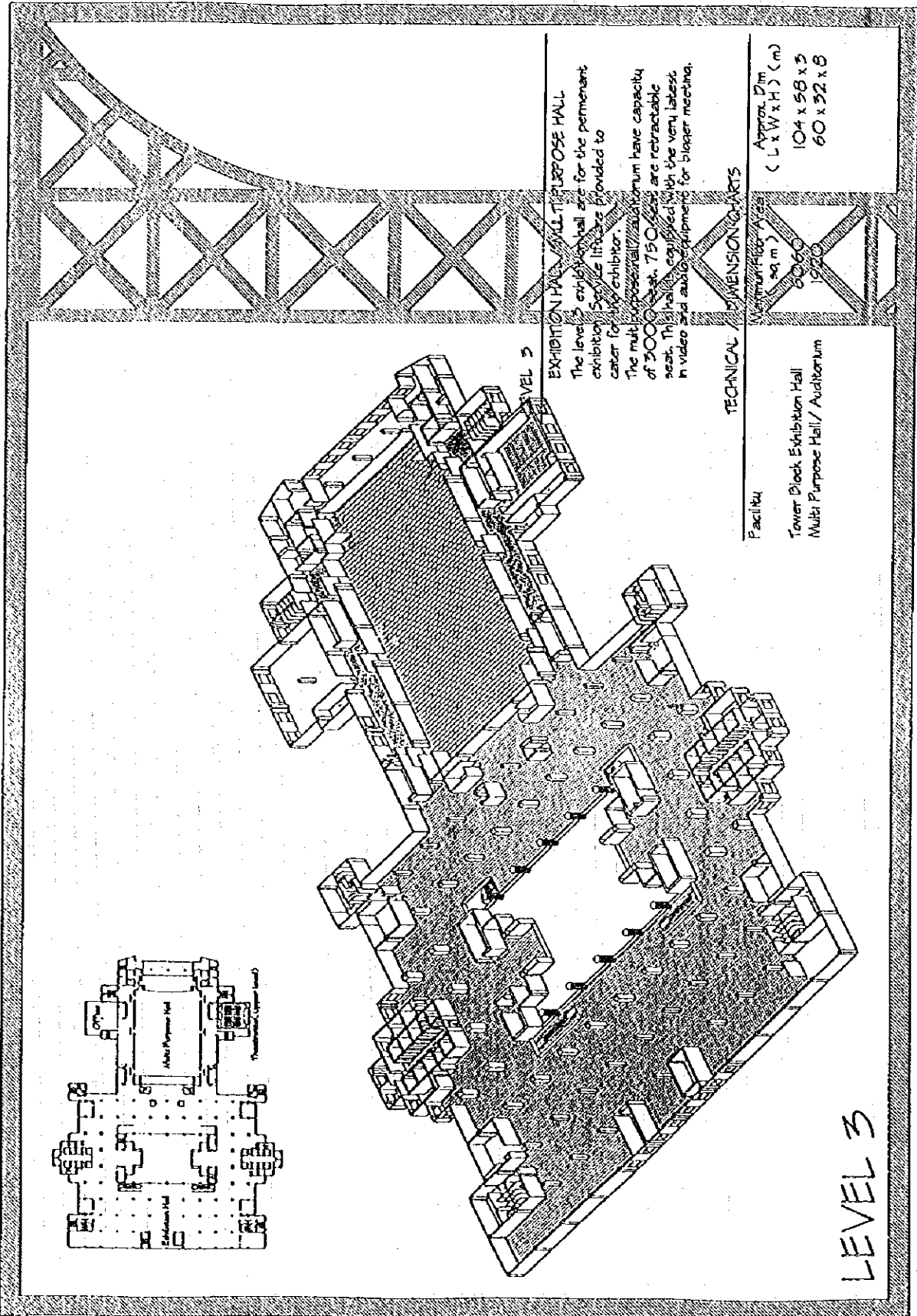
Two theatrettes are provided on the level. One of the theatrettes are double volume in height and large enough to seat 120 people in theatre style.

The other theatrette has a capacity of 90 seats. For international seminars and conferences the theatrette has a sophisticated interpretation system and equipped with state of the art audio and video.

**TECHNICAL DIMENSION PARTS**

Facility	Approx. Dim (L x W x H) (m)	Approx. Dim (L x W x H) (m)	Approx. Dim (L x W x H) (m)
Tower Block Exhibition Hall	104 x 58 x 3	104 x 58 x 3	104 x 58 x 3
Trade Library	60 x 32 x 3	60 x 32 x 3	60 x 32 x 3
Theatrette (120 seats)	16 x 16 x 6	16 x 16 x 6	16 x 16 x 6
Theatrette (90 seats)	16 x 16 x 3	16 x 16 x 3	16 x 16 x 3

LEVEL 2



LEVEL 3

EXHIBITION HALL / MULTIPURPOSE HALL

The level 3 exhibition hall area for the permanent exhibition. Service lifts are provided to cater for exhibitors.

The multi-purpose hall/auditorium have capacity of 3000 seats. 750 seats are retractable seats. The hall is equipped with the very latest in video and audio equipment for bigger meetings.

TECHNICAL DIMENSION CHARTS

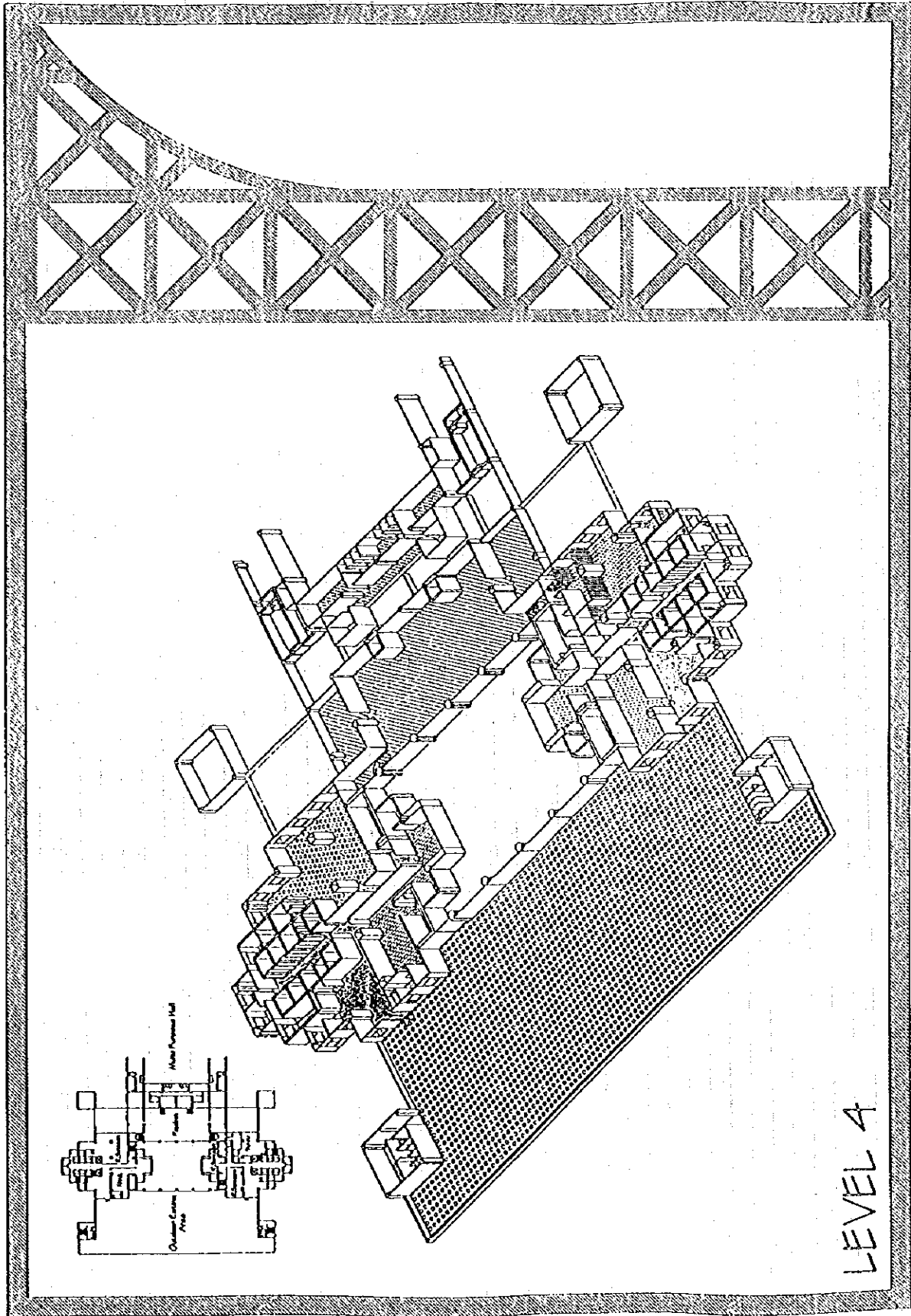
Function Area	Approx. Dim (L x W x H) (m)
Exhibition Hall	104 x 58 x 5
Multi-Purpose Hall	60 x 32 x 8

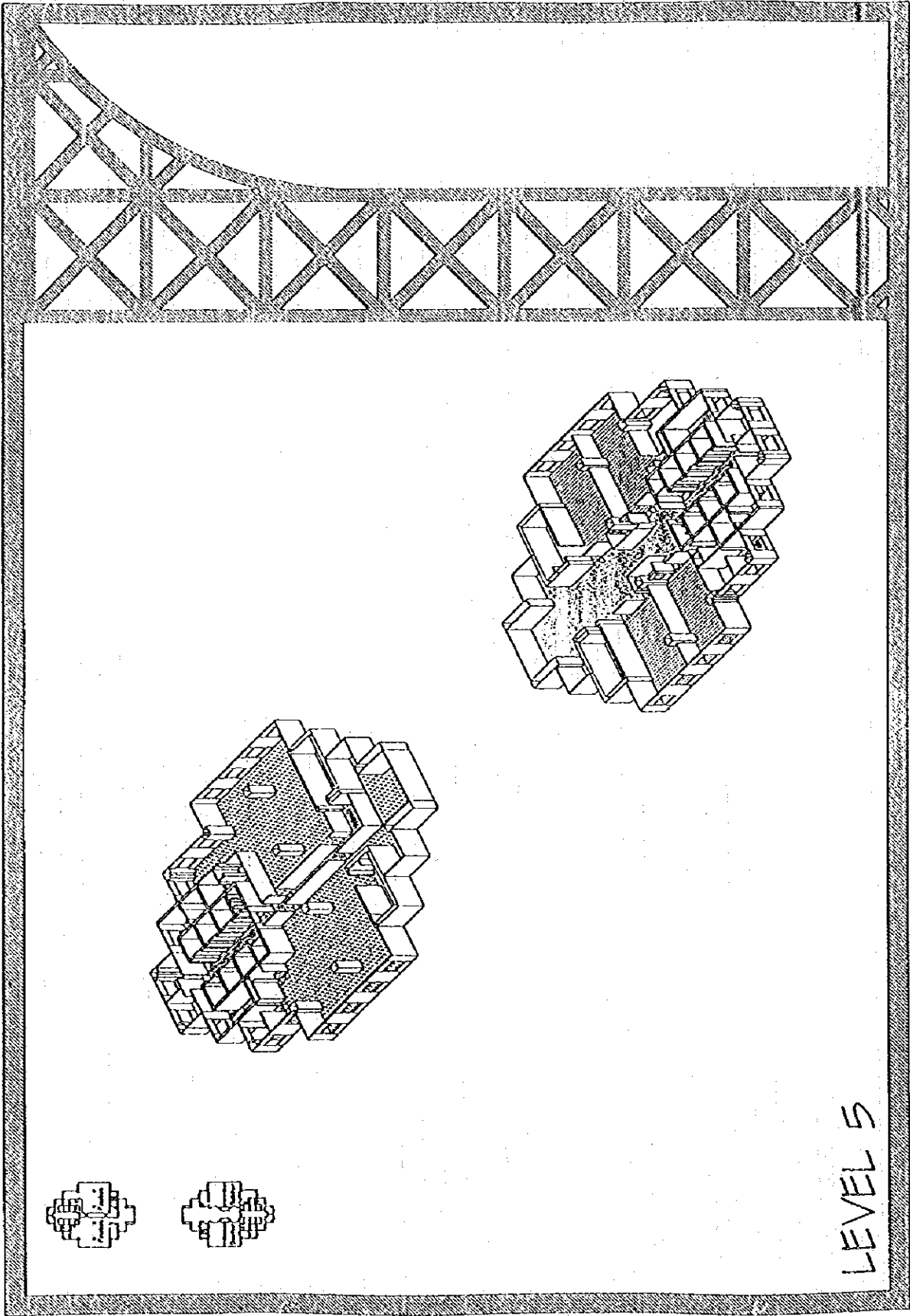
Facility

Tower Block, Exhibition Hall  
Multi Purpose Hall / Auditorium

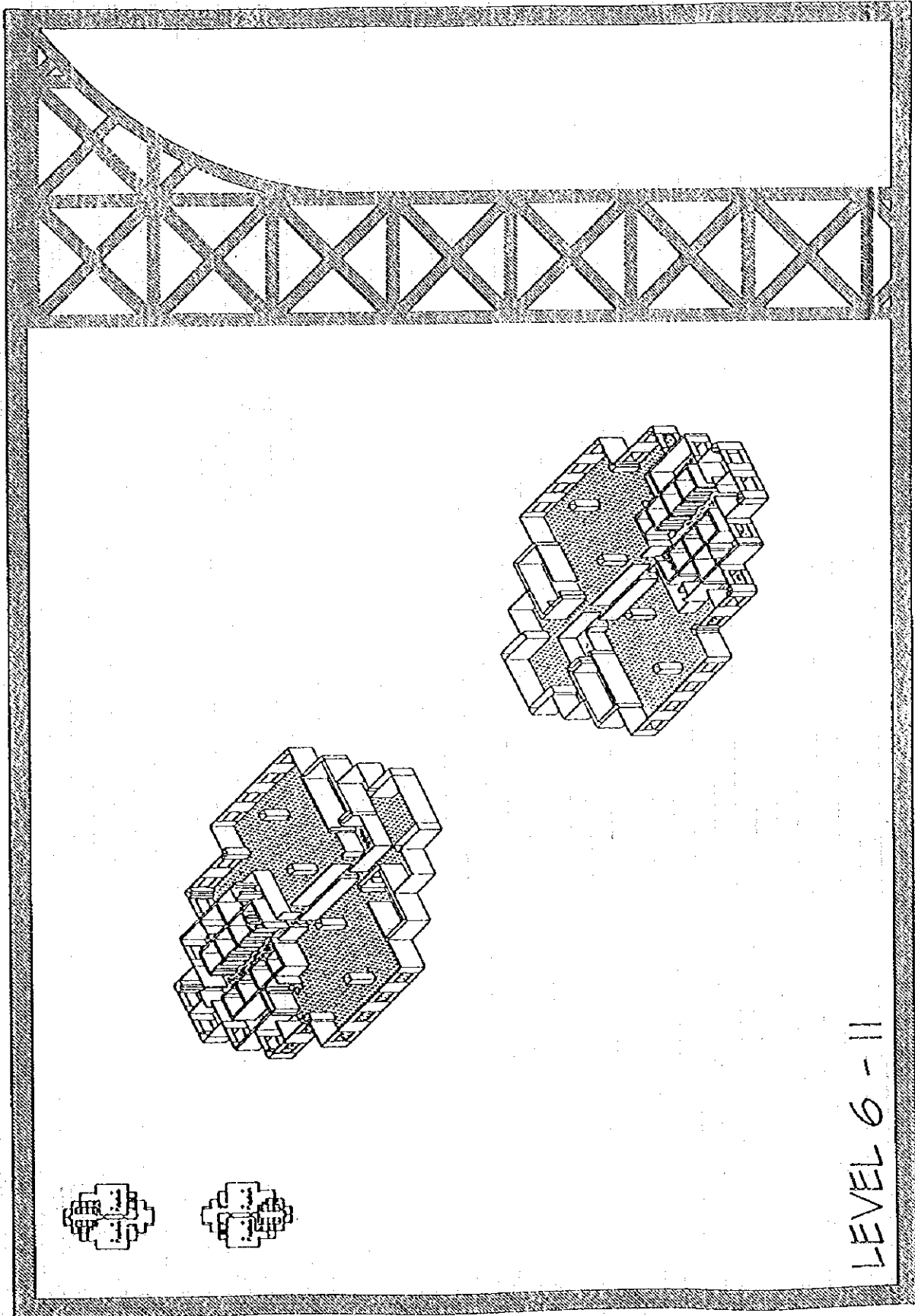
LEVEL 3



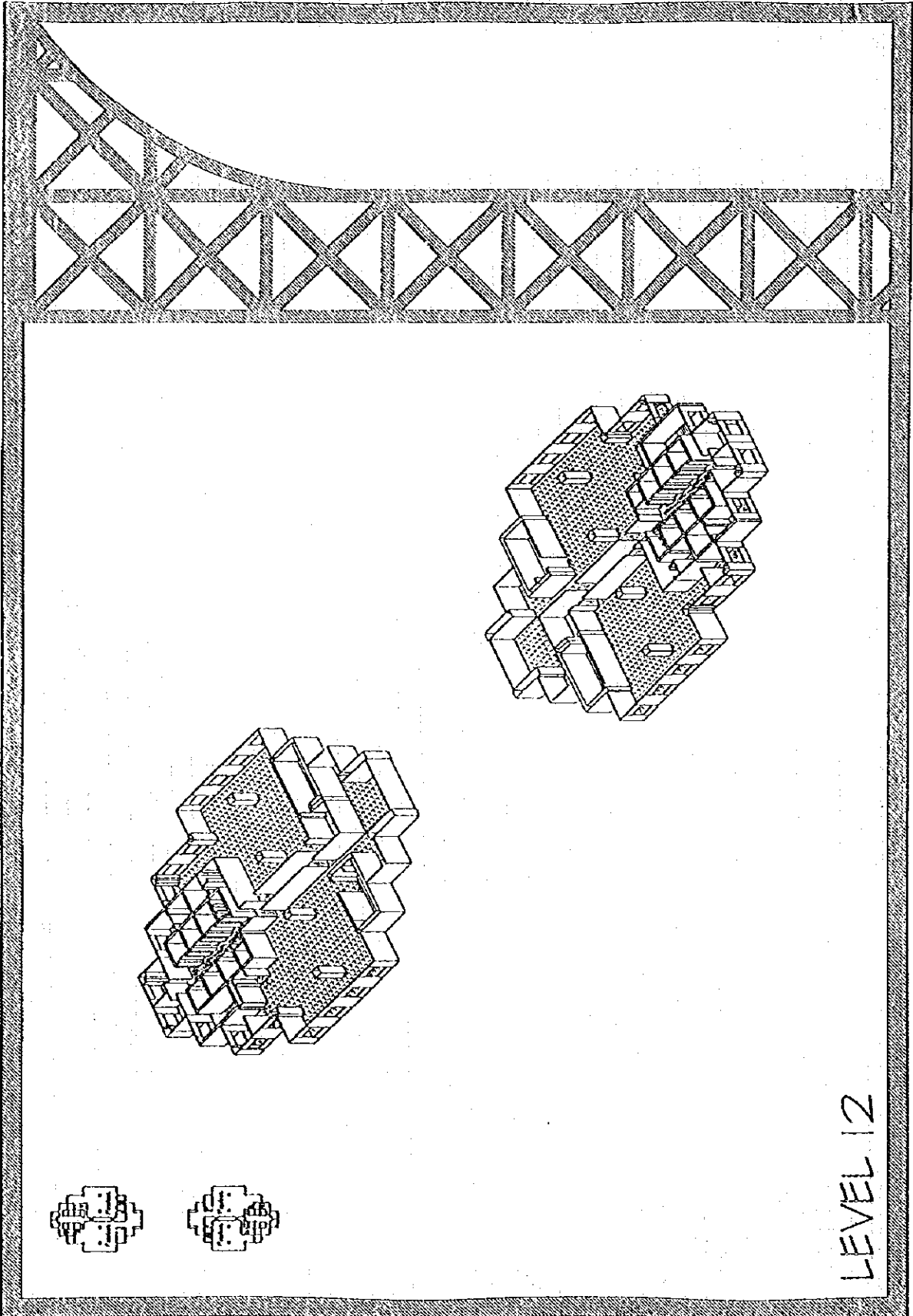




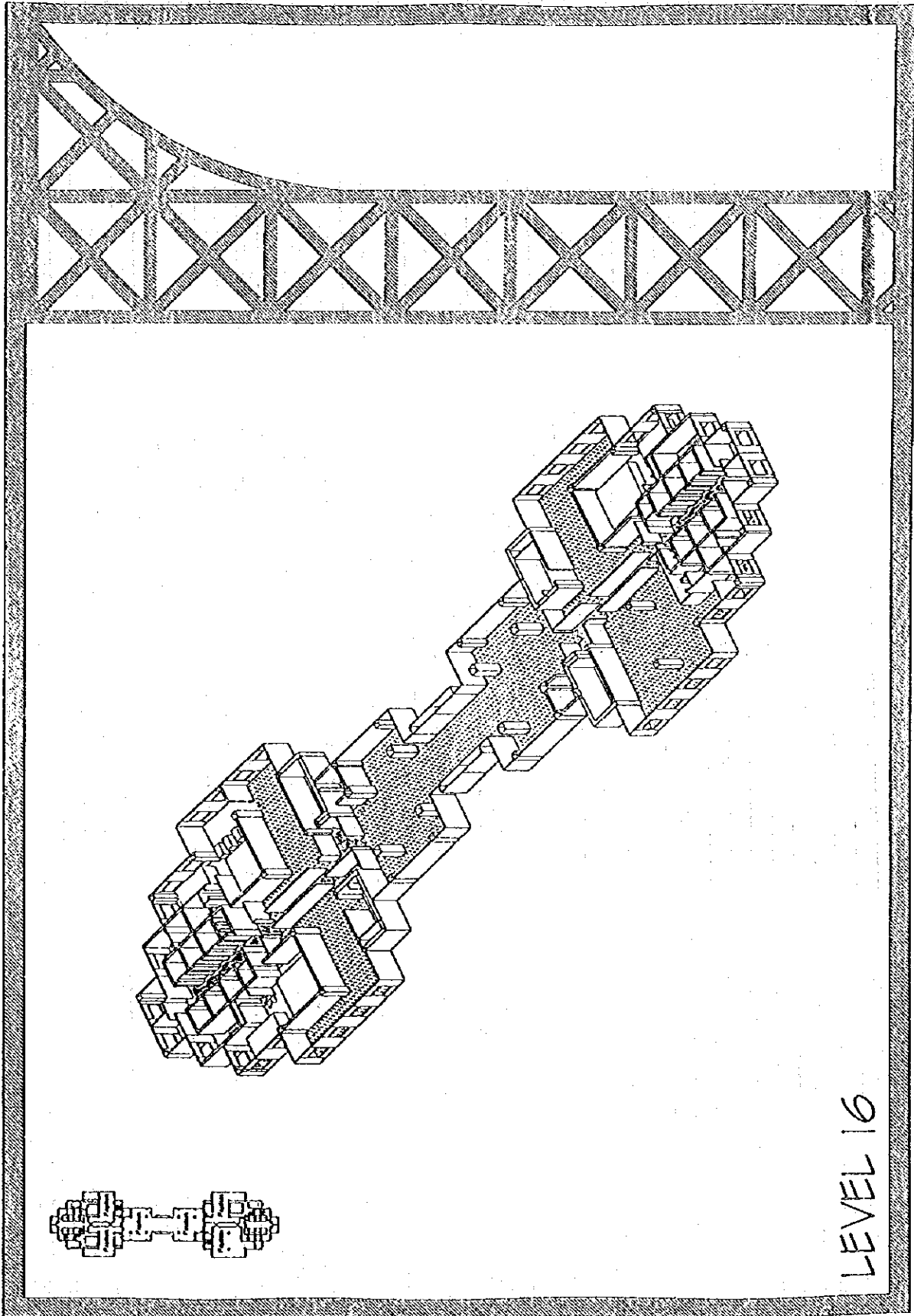
LEVEL 5



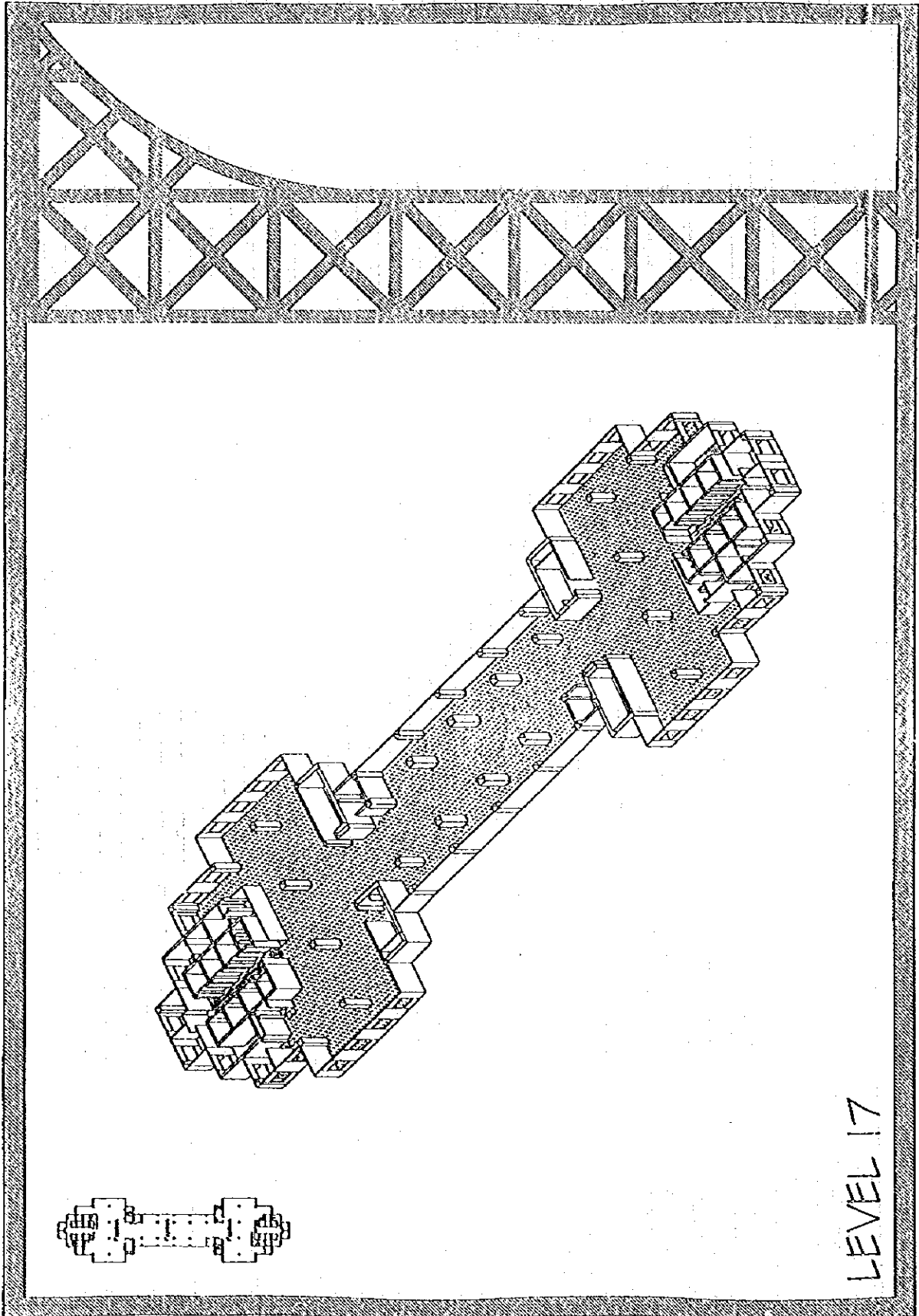
LEVEL 6 - II

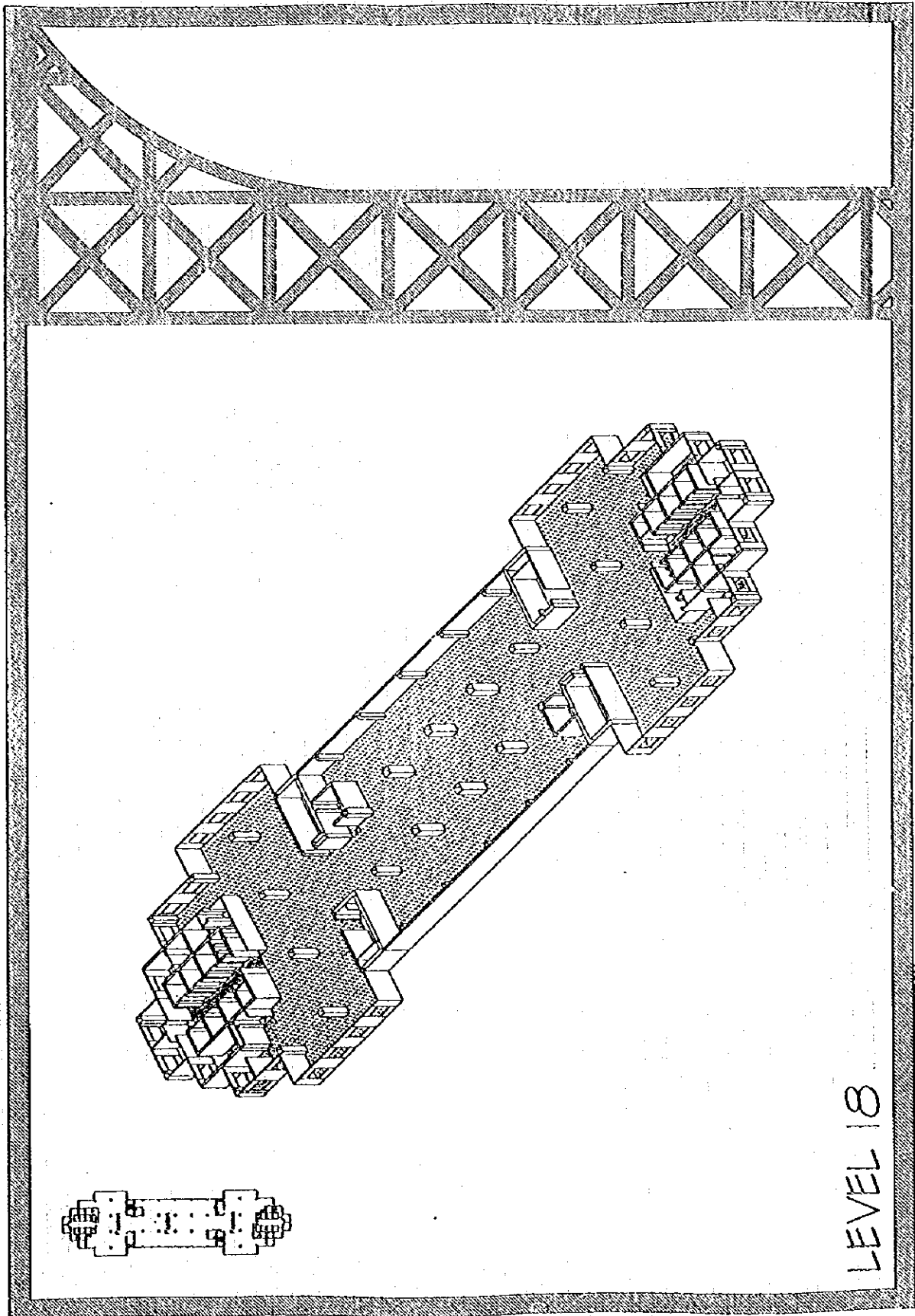


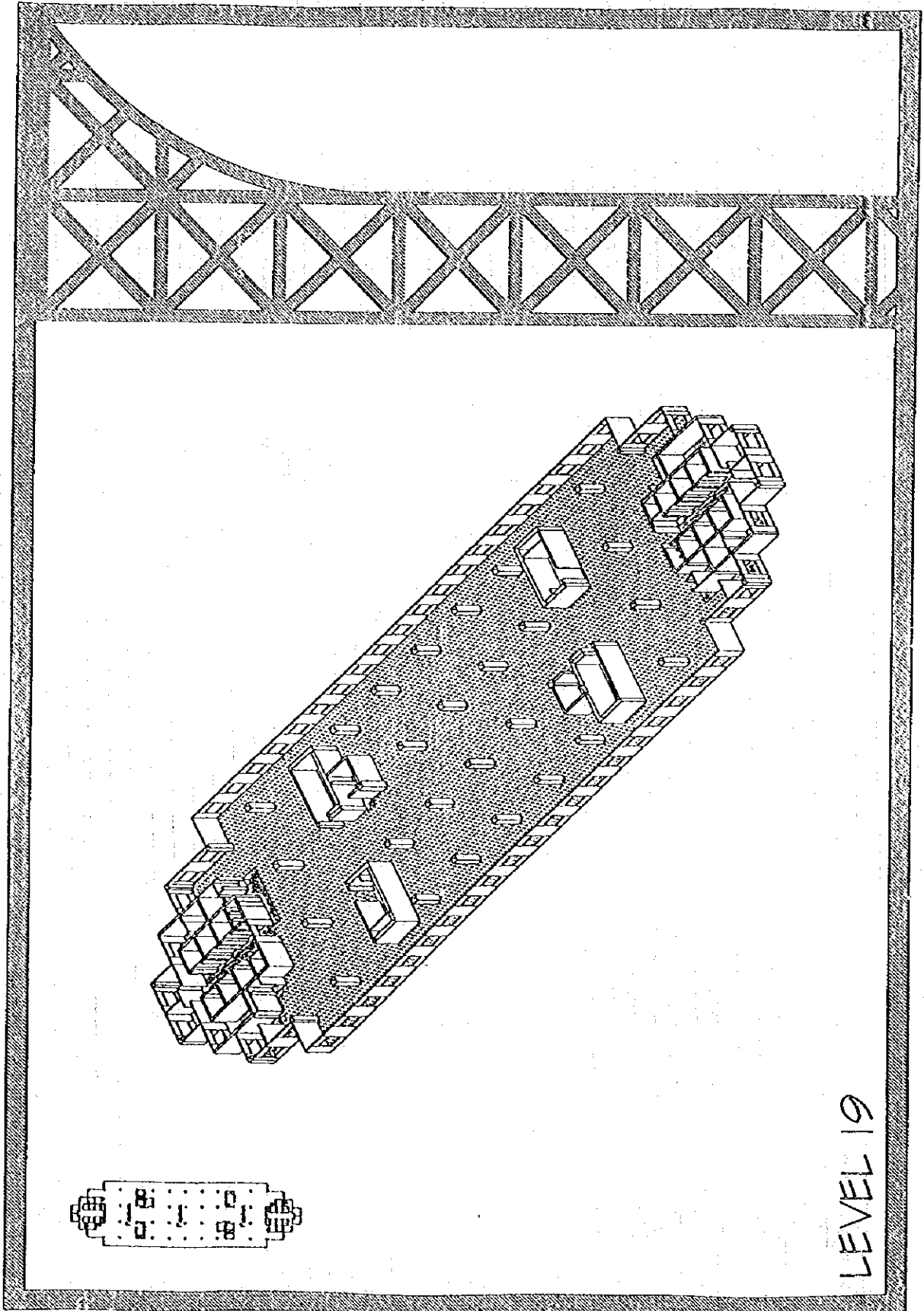
LEVEL 12



LEVEL 16

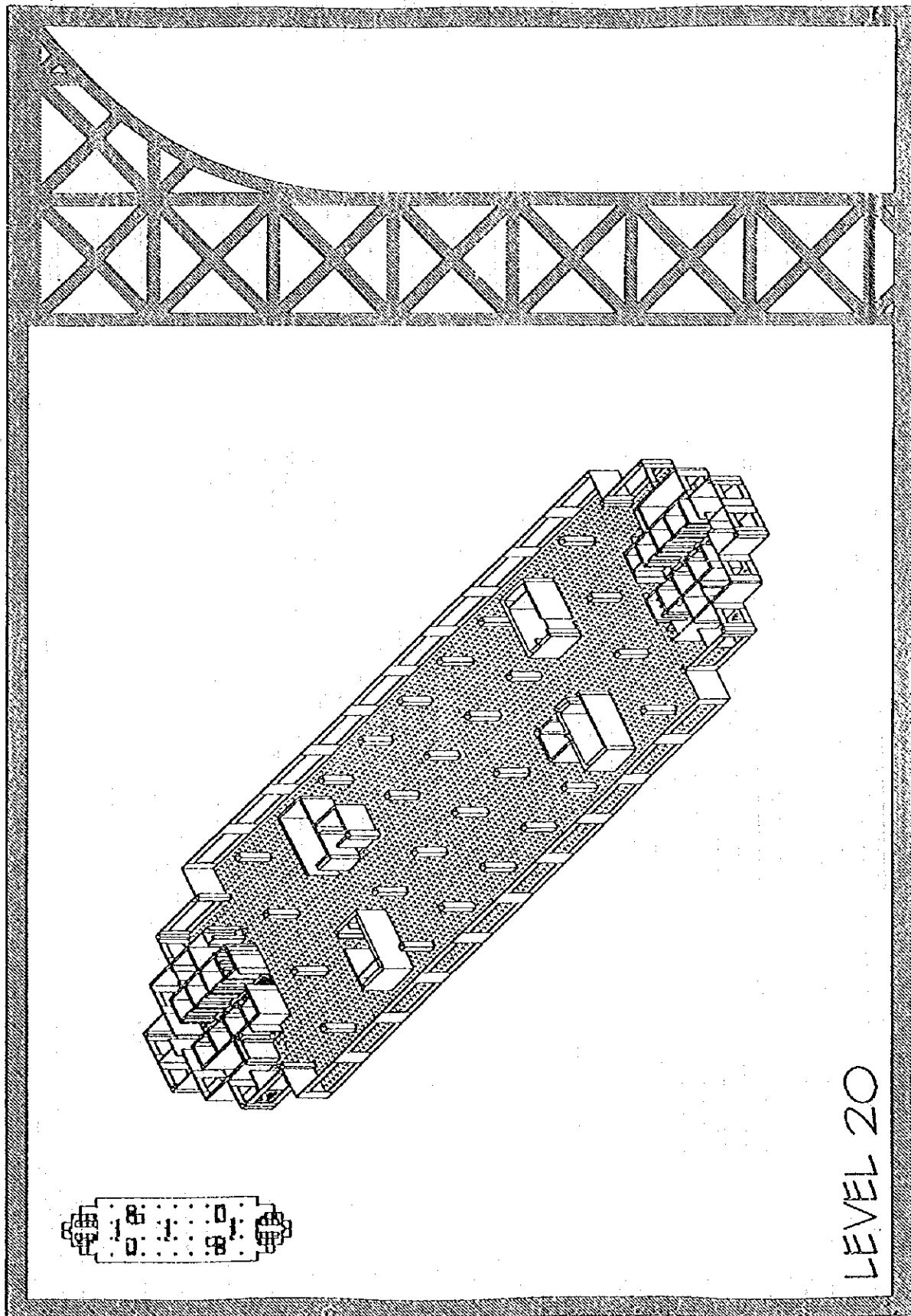


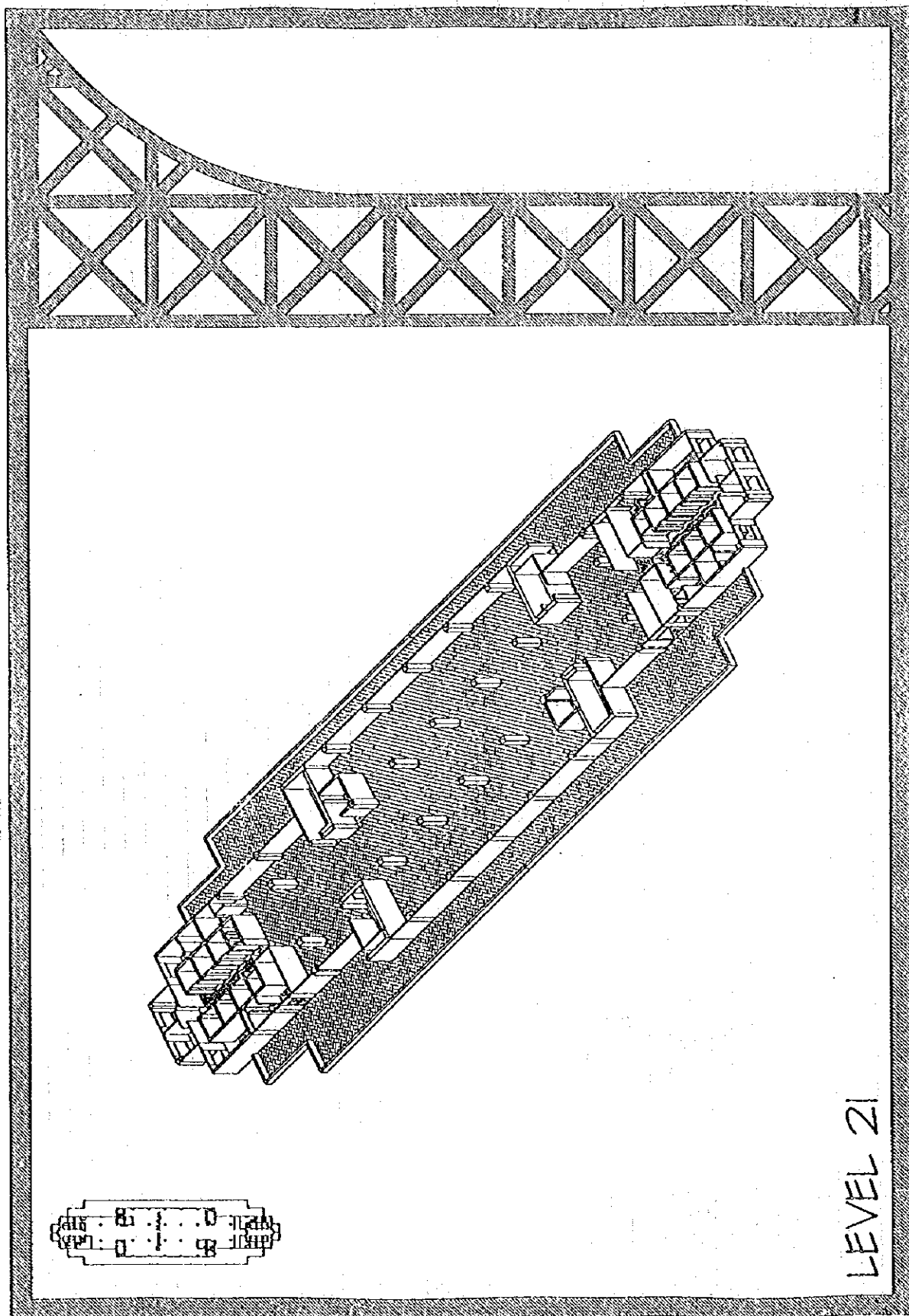




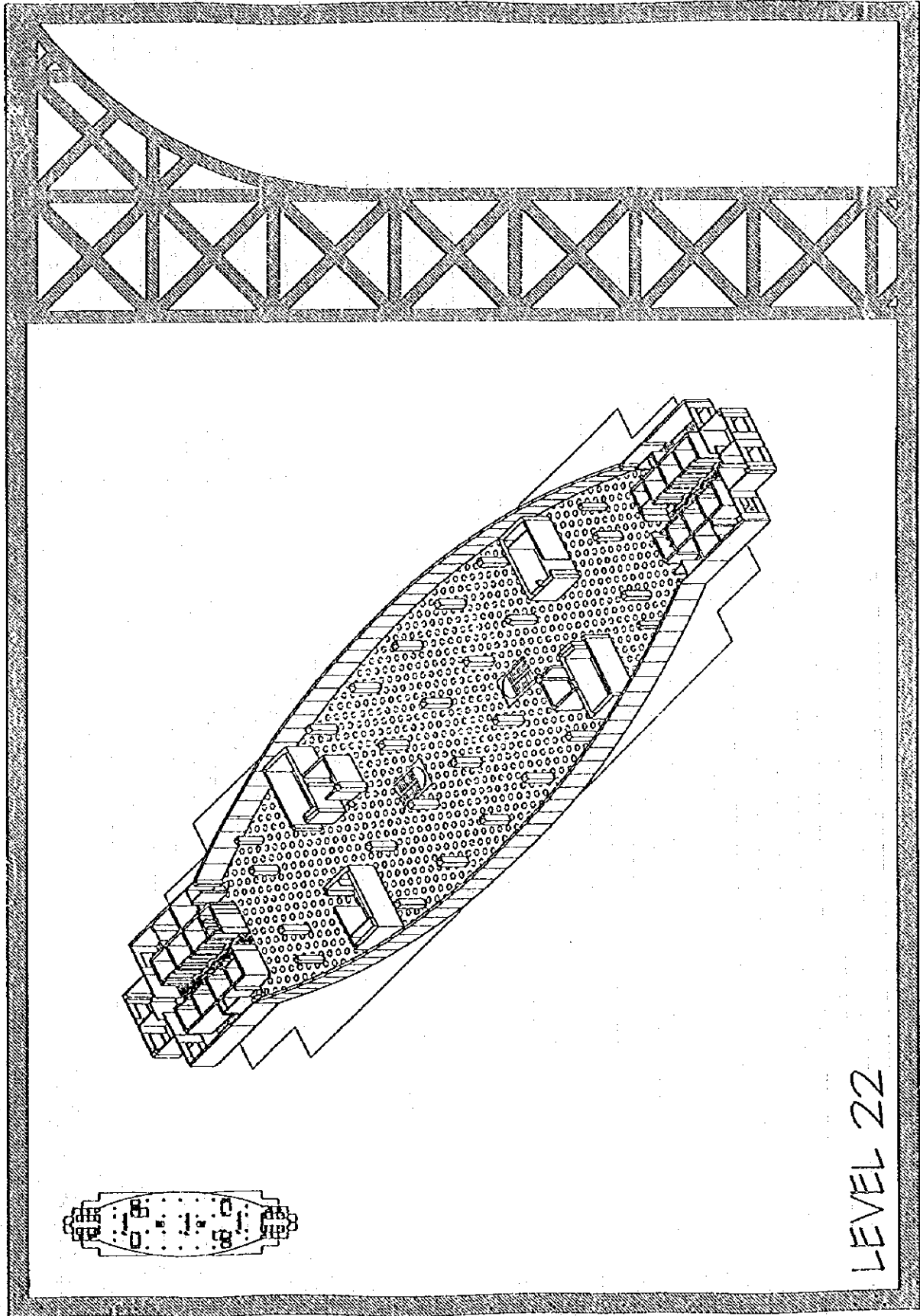
LEVEL 19



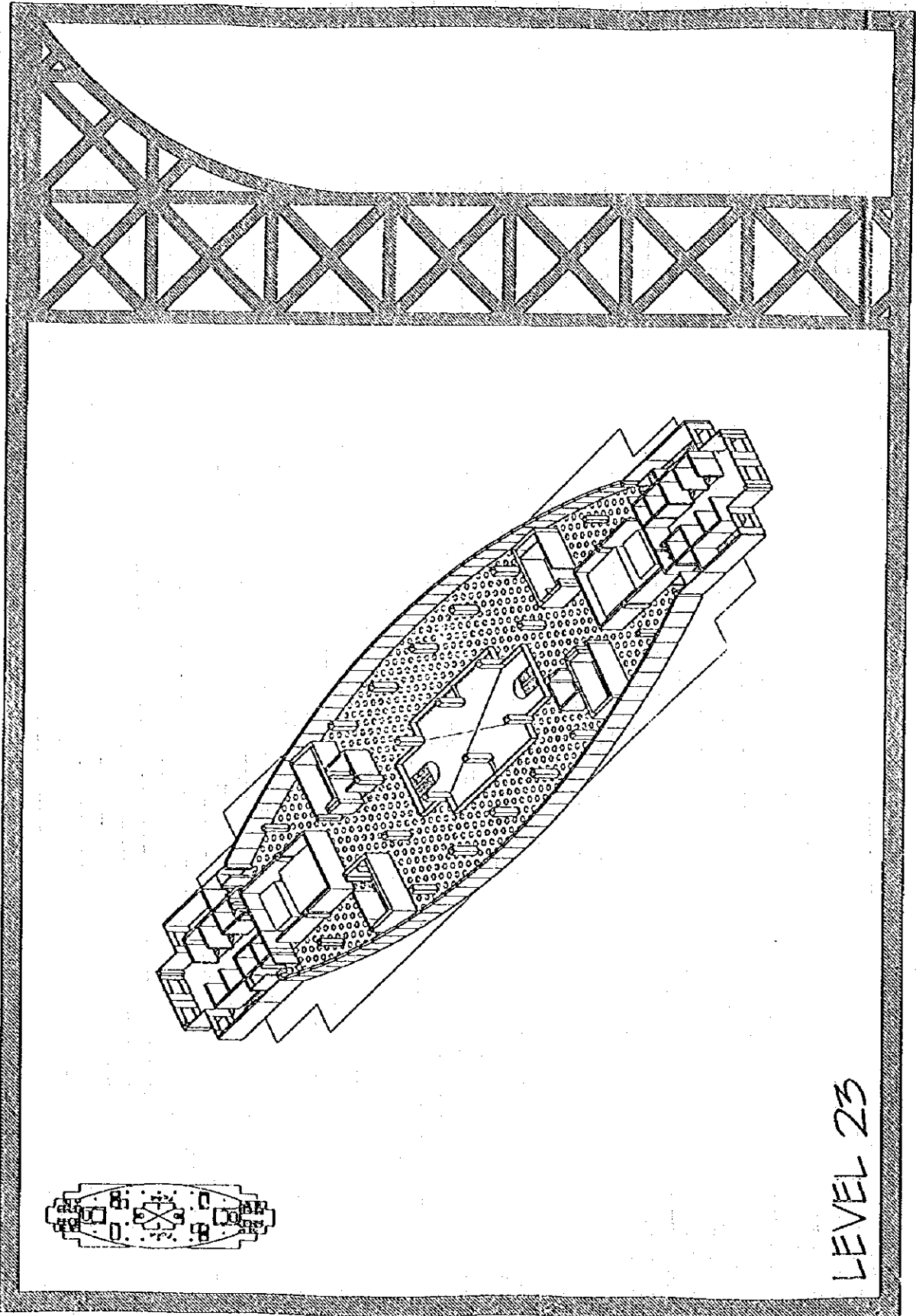




LEVEL 21



LEVEL 22



## マレーシア貿易開発公社プロジェクト

### 「プロジェクト概要」

協力期間：1994年7月1日～1999年6月30日

JICA MATRADE PROJECT

7th Floor, Wisma Sime Darby,  
Jalan Raja Laut,  
50350 Kuala Lumpur

## マレーシア貿易開発公社 (MATRADE) プロジェクト概要

1996年10月11日

### I. プロジェクトの経緯

- 「マ」政府は、1991年7月発表の第6次5カ年計画で輸出産業の育成のための貿易振興機関の設立を発表。
- 「マ」側、1991年7月の日・マ年次協議で同機関の設立・運営にかかわる技術協力を要請。
- わが国、1992年12月に事前調査団を派遣。
- 1993年6月、マレーシア貿易開発公社 (MATRADE) 発足。
- わが国、1993年8月および12月に長期調査員を派遣。
- わが国、1994年3月、実施協議調査団を派遣。「マ」側と実施上の諸問題を協議、討議議事録 (R/D) に署名。1994年7月より5カ年間の協力を開始。

### II. プロジェクトの概要

1. 「マ」側実施機関：マレーシア貿易開発公社 (MATRADE)
2. 同関係機関：マレーシア通商産業省
3. 日本側実施機関：国際協力事業団 (JICA)
4. 同協力機関：日本貿易振興会 (JETRO)
5. 同関係機関：通商産業省
6. 目的：MATRADE スタッフを対象としたわが国輸出振興にかかわる経験、知識を移転する人材開発 (輸出振興事業の自律的实施・展開をはかる) を通じマレーシアの貿易振興に寄与する。
7. 対象分野：(1)海外調査、市場調査(2)貿易関連情報の発掘、収集、整理(3)貿易情報の普及(4)貿易相談(5)情報処理の電算化(6)貿易情報の作成、出版(7)常設展示会・見本市の開催(8)国際広報
8. 協力方式：プロジェクト方式技術協力  
(1)長期・短期専門家の派遣(2)日本への MATRADE カウンターパートの研修受入れ(3)プロジェクト遂行に必要な機材の供与
9. 実施場所：クアラルンプール
10. 協力期間：5カ年間 (1994年7月1日～1999年6月30日)

### Ⅲ. 日本側協力体制と実施概要

#### 1. 長期専門家：5人、5カ年間派遣。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1) チーフアドバイザー<br>(久司正夫)  | ①実施計画のとりまとめ、調整②四半期会議の運営③その他<br>専門家担当以外の分野協力 |
| 2) 調整員<br>(三木隆文)        | ①経理・会計②専門家業務支援③研修員派遣、機材調達業務                 |
| 3) 調査<br>(高津貞夫)         | ①海外調査全般②商品市場調査③貿易統計データベース開発                 |
| 4) 貿易相談(情報提供)<br>(菅沼光城) | ①貿易相談・情報提供業務全般②業務関連情報整備③セミナー開催、ミッション受入れ     |
| 5) 図書館運営<br>(吉川真紀子)     | ①リソースセンター運営全般②資料収集、整理、普及③レファレンスサービス         |

#### 2. 短期専門家：13人(94年度4人、95年度7人、96年度2人[残4人])

- 1) 日本市場(4人)(一般、加工食品、家具、住宅部材)
- 2) 貿易統計データベース(2人)
- 3) 国際広報(1人)
- 4) 展示場運営(1人)
- 5) DTP操作(1人)
- 6) 海外商品調査(1人)
- 7) 機材選定(3人)

#### 3. 研修員本邦受入れ：11人(94年度2人、95年度5人、96年度4人)

総務部(2人)、貿易促進部(2人)、貿易相談部(3人)、貿易情報部(3人)、調査・開発部(1人)

#### 4. 機材供与：1億8,300万円(94～96年)

94年：1億2,500万円(コンピュータLANシステム、PC、DTP、車両、図書)

95年：4,500万円(インターネット用サーバ、車両、貿易データベース、図書)

96年：1,300万円(貿易統計用サーバ、図書、電子白版)

#### 5. 携行機材費

94年：144万円 95年：206万円

96年：28万円(10月現在)

#### 6. 現地業務費

94年：360万円 95年：360万円

96年：300万円(見込み)

## 7. 国内支援体制

- 1) MATRADE 協力事業国内支援委員会 (委員長：山崎忠夫 MIPRO 常任理事以下 8 名で構成。事務局：JETRO 貿易開発部、オブザーバー：外務省経済協力局技術協力課、通産省経済協力部技術協力課)
- 2) ①プロジェクト実施計画策定のための協力・助言②専門家の推薦③機材の推薦・選定④研修用教材の開発・資料収集⑤④研修員の受入れ、研修実施

## IV. マレーシア側実施体制

1. 組織体制：サムスディン・マースupp 長官以下国内 5 部体制、海外 25 事務所 (日本：東京、大阪の 2ヶ所)、総定員 130 名、海外現地採用 104 名。
    - 1) 総務部 (部長：ラジャ・カマルディン)：総務 (広報、渉外)、財務、人事の 3 課 33 人
    - 2) 貿易促進部 (部長：スハイミ・オスマン)：展示会、展示サービス、貿易ミッションの 3 課 15 人。
    - 3) 貿易情報部 (部長：ラーマン・ハロン)：リソースセンター、出版、コンピュータサービスの 3 課 23 人。
    - 4) 貿易相談部 (部長：ハリム)：貿易相談、研修の 2 課 19 人。
    - 5) 調査・開発部 (部長：イシャク)：調査 3 課、技術協力の 4 課 12 人。
  2. 運営資金：国庫補助による予算 (94 年 15 億円、95 年 20 億円、96 年 22 億円) が主体。他に会員制度 (1,100 社、年会費 500 リンギット)、セミナー参加費等による事業収入。
  3. 建物、施設：現状、Sime Darby ビル 7 階および PKNS ビル 1 階 (貿易相談部、常設展示場) と 3 階 (リソースセンター) を賃貸。地上 24 階、地下 2 階、総床面積 10 万平方メートルの新 MATRADE ビルを 80 億円の予算で 94 年から建設中。建物完成 97 年 10 月。98 年 1 月から MATRADE 自身および賃貸入居者の入居を予定。
  5. カウンターパート (C/P) の配置：現状、長期専門家が常時直接対応しているカウンターパート (原則、オフィサー以上) は 22 名。内訳は次のとおり。
    - 調査 (島津) 8 名 (調査開発部調査担当者)
    - 貿易相談 (菅沼) 9 名 (貿易相談部、情報提供部)
    - 図書館 (吉川) 5 名 (リソースセンター)
- ただし、各部にまたがる問題、短期専門家担当分野、セミナー開催等の場合には、他部課職員も C/P として活動対象。なお、MATRADE は今後約 100 名余の職員増加 (うち、国内要員名 70 名余) を計画しており、97 年 1 月以降着任の予定。今後 C/P は大幅に増加する見込み。



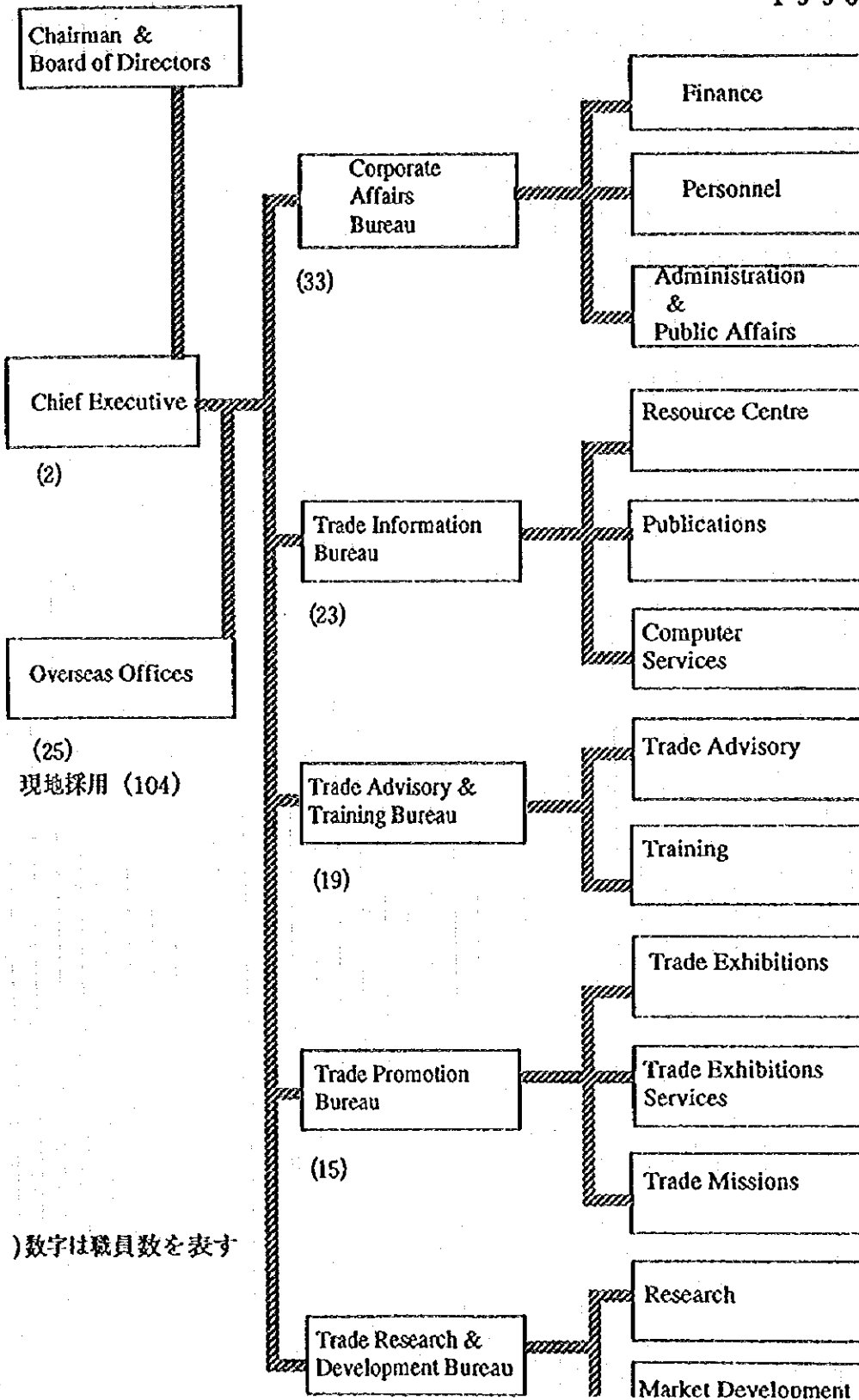
## V. 日・「マ」プロジェクト実施協議体制

### 1. JICA 調査団派遣（合同調整委員会併催）

2. 四半期合同会議：毎四半期、サムスディン長官司会の下、各部長出席で専門家チームとプロジェクト実施上の主要問題を協議するもの（マレイシア JICA 事務所員参加）。

# MATRADE 組織図

1996年9月現在



( )数字は職員数を表す

長期専門家の活動計画及び実績 1. 調査

年度・四半期	活動計画	活動実績
1994・2	1.平成6年度機材供与計画の実施に係る協力(機材調達短期専門家への協力) 2.調査部の活動状況と今後の計画の把握 3.平成6年度年次作業計画(Annual Work Plan'94)の作成 4.平成7年度年次作業計画(AWP-95)の作成 5.調査事業にかかわるコンサルティング	1.平成6年度機材供与計画の実施に係る協力 -平成6年度機材調達計画の調整および入札手配に関して、過去の経緯を踏まえ短期専門家に協力。 2.調査部の活動状況と今後の計画の把握 -調査部3課長よりヒアリング。 3.平成6年度年次作業計画(Annual Work Plan-94)について、上記ヒアリングに基づき原案を再検討。 4.平成7年度年次作業計画(AWP-95)について検討。 5.調査事業にかかわるコンサルティング -国別ファイルの作成、ミャンマー特別調査等に関して相談に応じてアドバイス。
1994・3	1.海外調査事業に係る指導・助言(1) <input type="checkbox"/> 調査ガイドライン作成指導 2.海外調査事業に係る指導・助言(2) <input type="checkbox"/> マーケット・インテリジェンス調査ガイドライン作成指導 3.海外調査事業に係る指導・助言(3) <input type="checkbox"/> カントリーレポート(国別ファイル)の作成に関する指導 4.その他調査事業関連のコンサルティング <input type="checkbox"/> 第7次5カ年計画アプローチペーパーの作成について	1.海外事務所における経済・貿易関係調査(日常調査活動)に係る調査ガイドライン作成について指導(ジェトロのガイドラインを英訳し、これに基づいて説明、指導した) 2.マーケット・インテリジェンス(一般的市場調査)のガイドライン作成について指導(ガイドラインを提示したうえ、上記日常調査に組み入れるよう指導、助言した) 3.ミャンマー市場調査団派遣に先立ち、ミャンマーに関する調査レポートを国別ファイル・サンプルとして作成・提示、これによりカントリーレポート(国別ファイル)の作成について指導 4.第7次5カ年計画(1996-2000)の策定に関するアプローチペーパーの作成に関して助言

<p>1994・4</p>	<p>1. 海外調査事業に係る指導・助言 (1)  <input type="checkbox"/> 輸出マーケティング調査の組織フレーム      および調査の実際に関する指導</p> <p>2. 海外調査事業に係る指導・助言 (2)  <input type="checkbox"/> 貿易統計検索システムの構築に関する指      導</p> <p>3. 海外調査事業に係る指導・助言 (3)  <input type="checkbox"/> 調査開発部の組織、機能、体制に関する      意見交換、啓蒙</p> <p>4. その他  <input type="checkbox"/> "ANALYSIS OF GLOBAL TRADE" に      係る計画立案および分析手法についてアド      バイス</p>	<p>1. 輸出マーケティング調査の組織的フレー      ム (企画から報告書配付まで) および実施      要領に関するマニュアルを作成したが、      これに関する指 導は来年度以降に先送      り。(96年度以降、新経 済5ヶ年計画に      合わせて実施する)</p> <p>2. アウトプット・デザインをいくつか作成      ・提示、さらにマレーシアの輸出実態に則し      た品目分類 体系試案を作成、検討委員会      の設置と委員会での検討を要請。貿易統計      分析の実例を提示するため、月刊誌に出      稿。</p> <p>3. 調査開発部の組織、機能、体制に関して      意見具申。</p> <p>4. 主要輸出品の品目別・仕向地別輸出構造の      総合 的レビュー (当方提案に基づくも      の) に関する 計画立案および分析手法に      ついて指導・助言。</p>
<p>1995・1</p>	<p>1. 調査事業に係る指導・助言 (1)  <input type="checkbox"/> 輸出構造レビューに関する指導：マレイ      シア輸出製品の輸出構造、目的市場におけ      る競争状況および同マレーシア製品の輸入      市場における位置づけに関する分析につい      て指導</p> <p>2. 調査事業に係る指導・助言 (2)  <input type="checkbox"/> 貿易統計検索システムの構築に関する指      導：品目分類体系の構築と分類定義表の作      成</p> <p>3. 調査事業に係る指導・助言 (3)  <input type="checkbox"/> 輸出マーケティング理論に関する指導</p> <p>4. 調査事業に係る指導・助言 (4)  <input type="checkbox"/> "カントリーレポート" の構成および情報      収集に関するアドバイス</p>	<p>1. ①木製家具、②ゴム製品の2品目につい      て分析レポートを作成、調査部内に配布。      かつ、情報サービス部長の要請により      MATRADE 発行の国内向け雑誌「Trade      Digest」に寄稿。</p> <p>2. マレーシアの輸出実態に則した品目分類      体系 (MATRADE独自の分類体系) および同分      類定義 (SITC/HSの双方向アプローチ) の最      終プロポーザルを提案、検討委員会での検      討を要請。(6月30日)</p> <p>3. 「マーケティングとは何か?」「マーケ      ティング戦略」「MATRADEの役割」の3部構      成で、レクを2回シリーズで実施。調査事      業の重要性を強調。</p> <p>4. カントリーレポートの内容的組立ておよ      び情報収集手法について助言。</p>

<p>1995・2</p>	<p>1. 貿易統計検索システムの構築に関する指導：品目分類体系、分類定義、地域分類に関するプロポーザル作成、委員会での検討を指導する。</p> <p>2. 「在外事務所からのレポートをいかに確保するか」について提言する</p> <p>3. 日本の木製品市場調査に係る調査計画書の作成 について指導する。(ジェットロ調査員制度)</p> <p>4. マレーシア輸出構造分析に関し、引き続き見本を示し、調査部スタッフを啓蒙する。</p> <p>5. その他 (アドホック相談への対応)</p>	<p>1. 貿易統計検索システム品目分類体系、同分類定義 (SITC/HS) および地域分類体系に係る最終プロポーザルを提案、検討委員会にて検討、当方提案どおり採択 (95. 7. 25)</p> <p>1. 2マレーシア貿易統計における各種誤謬を指摘、中統計局に善処方要請 (95. 7. 26)</p> <p>2. アドバイザリーペーパーを提出 (95. 8. 8)</p> <p>3. 日本の木製品市場調査に係る調査計画書プロポーザルを作成、提供、担当職員を指導 (95. 8. 17)</p> <p>4. 国内向け雑誌「Trade Digest」への寄稿：シリーズ第3回「アバレル」の原稿提出 (95. 9. 4)</p> <p>5. 日本の対アセアン各国輸入構造時系列分析のための日本側統計データ (マレーシア) を英訳のうえ、スクラマン課長に提供 (95. 8. 17)</p>
<p>1995・3</p>	<p>1. 「カントリーレポートのまとめ方」に関するマニュアルの作成に着手する (完成は96年3月末の予定)</p> <p>2. マレーシア産品の輸出構造・輸入市場における競争状況分析に関し、引き続き模範を示し、調査部スタッフを啓蒙する。</p> <p>3. その他 (アドホック相談への対応)</p>	<p>1. 「カントリーレポートのまとめ方」にとどまらず、ジェットロ調査の基本理念、一般経済貿易動向調査、商品市場調査、特別テーマ調査等を含む「調査の総合マニュアル」という形に変更することとし、執筆に着手。(完成目標：平成7年度中) (95. 11. 02)</p> <p>2. 国内向け雑誌「Trade Digest」への寄稿：シリーズ第4回「合板」の原稿提出 (95. 12. 28)</p> <p>3. 日本の対アセアン輸入構造分析に係る相談 (95. 09. 04) および日本側輸入データ取り寄せ、提供 (95. 09. 14)、青森経済ミッションへの対応 (マレーシアの経済貿易動向に関するレク) (95. 09. 15)、南諸国への貿易フロー分析に係る相談 (95. 12. 06) 等</p>

1995・4	<p>1. 「調査の総合マニュアル」の執筆継続</p> <p>2. 貿易統計DBシステム開発に係るCRCとの協議</p> <p>3. 日本の木製品市場調査に係る事前調査の実地指導 (OJT) (一定部分は模範プレー/役務提供)</p> <p>4. マレーシア製品の輸出構造・輸入市場における競合状況分析に関し引き続き模範を示し、調査部スタッフを啓蒙する。(模範プレー/役務提供)</p> <p>5. (マクロ経済調査レポートの作成指導を目的として) 対日貿易インバラ問題に関する調査レポート(論文)作成(模範プレー/役務提供)</p> <p>6. 情報ニーズに係るアンケート調査フォーム作成、調査実施について勧告</p> <p>7. その他(アドホック相談への対応)</p>	<p>1. 貿易統計DBシステムに係るCRCとの打合せ等業務多忙のため、平成7年度中の完成目標は達成できず。(任期終了までに目標変更)</p> <p>2. 貿易統計DBシステム開発に係るCRC向け資料作成および打合せ (Jan.18-19)</p> <p>3. 日本側データの収集および同加工分析に係る実地指導。事前調査段階をほぼ終了。(Feb.09)</p> <p>4. 刊行誌「Trade Digest」への寄稿：シリーズ第5回「自動車用ゴム部品」の原稿提出 (Mar.27)</p> <p>5. 対日インバラ問題に関するレポートを執筆、CEOに提出。(Jan.21)</p> <p>6. アンケート調査フォーム案を添えて実施を勧告 (Feb.14)</p> <p>7. マーケティング調査、アンケート調査に関する相談(スクマラン調査課長)、新規輸出貢献企業表彰制度に関する相談 (Dass)、等</p>
1996・1	<p>1. 情報ニーズに関するアンケート調査の推進 (OJT)</p> <p>2. 海外商品市場調査の推進 (OJT)</p> <p>3. 日本の木製家具市場調査に係る実地指導 (OJT)</p> <p>4. 貿易統計検索システム修正用マニュアルの作成</p> <p>5. その他(アドホック相談への対応)</p>	<p>1. アンケート・フォーム最終案を提言 (Apr.19)</p> <p>2. 上部業界団体との品目・市場に関するヒアリングおよび個別の製造業者団体との打合せについての指導/年間実施計画や関連貿易統計データの作成、その他関連事項に関するOJT</p> <p>3. 調査要領につきブリーフィング (Apr.23)/木材産業局 (MITB) インタビュー実地指導 (Apr.13)/マレーシア側輸出データ&amp;日本側輸入データ加工の模範スタイルをWindows形式に変換のうえ提供/事前調査OJT終了 (May 06)/パカール調査員、日本へ出発 (May 21)</p> <p>4. 修正用マニュアル、Excelコマンドマクロを開発</p> <p>5. インターネット・ホームページ用貿易統計DBの基本デザイン設計 (コンピュータ部門からの依頼)/商品調査に関連してJETRO事務所に協力を依頼</p>

1996・2	<p>1. 海外商品市場調査の推進 (OJT)</p> <p>2. 井上短期専門家による企業マーケティング指導およびジェットロ輸出マーケティング調査に係るワークショップ開催</p> <p>3. 情報ニーズ・アンケート調査の集計・報告書とまとめ (OJT/役務提供)</p> <p>4. 日本の木製家具市場調査フォローアップ</p> <p>5. 貿易統計検索システム関連業務 (役務提供)</p> <p>6. その他 (アドホック相談への対応)</p>	<p>1. 木製品関連業界団体との打合せに同席・指導及び勧告等 (Jul 10, Aug 07)、国内事前調査に係る指導 (Jul 16)、海外調査計画に係る指導 (Jul 19)、調査の手順、マネージメントに係る指導、マニュアル改訂版を作成・配布 (Aug 13)</p> <p>2. 1ジェットロ輸出マーケティング調査に関するワークショップ開催 (Aug 09, 10)</p> <p>2. 2工場訪問およびマーケティング指導 (Aug 05, 07, 08)、各社別アドバイスを相談部に提供 (Aug 12)</p> <p>3. 調査結果の集計及び報告書の取りまとめ (Jul 30)</p> <p>4. 東京での調査結果の評価に関するジェットロ報告書を英訳・提供 (Aug 02)、報告書作成指導 (7~8月)</p> <p>5. Excelコマンドマクロの開発継続 (改良工事)</p> <p>6. 日本の木製家具市場調査プレゼンテーション他</p>
1996・3		
1996・4		

長期専門家の活動計画及び実績 2. 貿易相談

年度・四半期	活動計画	活動実績
1994・2	<p>1. 貿易相談・貿易情報サービス業務に係る現状把握</p> <p>2. 日本市場におけるマーケティング専門家(中村氏)への助言</p> <p>3. 日本派遣研修員2名(Mr. Ibrahim, Ms. Maimunah)の研修計画作成</p>	<p>1. Trade Advisory &amp; Training, Trade Information Bureau の関係者より各々説明を受け、問題点の洗いだし作業を実施。カウンターパートへの確認作業をしつつワークプランの下地を作成。</p> <p>2. 中村短期専門家の日程をカウンターパート、日本サイドと打合せをしつつ作成。</p> <p>3. 研修生の日本における研修日程調整および助言を実施。</p>
1994・3	<p>1. 94年度活動実績および活動計画のとりまとめ</p> <p>2. 95年度活動計画の取りまとめ</p> <p>3. 対日派遣研修員への事前説明、日本における受入機関との打合せ</p>	<p>1. 94年度活動実績、活動計画作成</p> <p>2. 95年度活動計画作成</p> <p>3. 研修員の対日派遣</p>
1994・4	<p>1. 貿易実務ハンドブック [HANDBOOK FOR EXPORT] -Q &amp; A for the beginner 作成</p> <p>2. 対日輸出関心業者への情報提供、貿易相談</p> <p>3. 短期専門家(日本の食品輸入制度)によるセミナー開催、食品工場改善指導</p>	<p>1. 3ヵ月いっぱいかけ期末に原稿完成。</p> <p>2. 対日輸出相談(木炭、綿、マットレス製品、レインコート等)および日本の制度情報(GSP関税制度)について指導。</p> <p>3. 短期専門家(JUSCO顧客サービス部長小川氏)によるセミナー実施(3/17)。食品工場4社訪問指導への協力。</p>
1995・1	<p>1. 「貿易実務ハンドブック」(作成済み)に新規項目追加執筆</p> <p>2. 「MATRADEハンドブック」の執筆</p> <p>3. 対日輸出案件引合斡旋協力</p>	<p>1. 「貿易実務ハンドブック」については項目追加ボリュームを増やし完成。関係者に配付、評価待ち。</p> <p>2. 「MATRADEハンドブック」の最終原稿を執筆。関係各部署に配付、検討を依頼する。</p> <p>3. MATRADE主催セミナー講師としてスピーチ(3回)</p> <p>①4月11日: "Myth about the Japanese Market" 於: サラワク州クチン市</p> <p>②6月10日: "Implication of Japanese Yen Appreciation toward Malaysia Exports"</p> <p>③6月24日: "Japanese Corporate Culture"</p>
1995・2	<p>1. "対日輸出ガイドブック"執筆のための関連</p> <p>2. 訓練事業(セミナー講習会等)開催関連</p> <p>3. 情報提供サービス関連</p>	<p>1. 対日輸出ガイドブックに必要な資料の収集。</p> <p>2. 下記に係る初旬日調達等。</p> <p>①木製家具セミナー講師手配</p> <p>②宮崎県買付ミッション受入</p> <p>③対日派遣研修員関連準備打合せ</p> <p>④職員対象"日マ貿易問題"講習会用資料収集。</p> <p>3. 種々日本関係情報提供</p>



1995・3	<p>1. "初心者のための輸出マニュアル" 再編集  2. 訓練事業(セミナー講習会等) 関連  3. 情報提供関連</p>	<p>1. "初心者のための輸出マニュアル" 再編集して最終原稿完成  2. 短期専門家(中村貞彦氏) による木製家具セミナー、工場指導実施  3. 職員対象に"日マ貿易問題とMATRADEの果たすべき役割" につき講義  4. 米国Worldtariff社のMs. E. Colviuによる世界の関税問題セミナー開催。  5. 対日輸出関連アドバイス(4件)</p>
1995・4	<p>1. MATRADE HANDBOOK "GUIDE TO THE JAPANESE IMPORT MARKET" 作成  2. DTP短期専門家受入 MATRADEとの調整等  3. 種々外部インクワイアリーへの回答と対応に協力することにより、ノウハウを提供してゆく  4. 要望に応じ、貿易実務、情報提供につき講義実施</p>	<p>1. MATRADE HANDBOOK "GUIDE TO THE JAPANESE IMPORT MARKET" の最終原稿を完成、提出。(3月25日)  2. DTP 専門家受入につき東京サイドと連絡調整。  3. Resource Centre (図書館) 職員を対象に関税率表の見方について講義。日本と米国の関税率表を中心に説明。  4. Trade Advisory 部職員の産業研究の一環として、日系工場の代表として松下エアコン工場見学アレンジ。</p>
1996・1	<p>1. 産業情報収集提供事例として下記テーマによりレポート作成および職員対象の講義を実施  (1) 世界の自動車産業とマレーシア  (2) 世界の半導体産業とマレーシア  (3) 世界のコンピュータ産業、周辺機器産業とマレーシア  2. Resource Centre職員対象レファレンスサービス向上のための講義  3. 種々対日輸出貿易相談の側面支援  4. ガイドブック英文修正</p>	<p>1. 産業情報収集提供事例として下記テーマによりレポート作成および職員対象の講義を実施  (1) 世界の自動車産業とマレーシア  (2) 世界の半導体産業とマレーシア  (3) 世界のコンピュータ産業、周辺機器産業とマレーシア  2. Resource Centre職員対象講義 "ビジネスマンが貿易図書館に期待するビジネス情報"  3. DTP関係田中専門家による研修サポート</p>
1996・2		
1996・3		
1996・4		

長期専門家の活動計画及び実績 3. リソースセンター

年度・四半期	活動計画	活動実績
1994・2	未着任	
1994・3	1. MATRADEリソースセンターの活動状況と今後の運営計画、予算計画の把握 2. MATRADEリソースセンターの資料収集実績と収集計画の把握 3. MATRADEリソースセンター図書館業務についてのアドバイス 4. 平成6年度次作業計画 (Annual Work Plan-94)の作成 5. 平成7年度次作業計画 (Annual Work Plan-95)の作成	1. 左記1 & 2については情報サービス部長およびザイラン司書よりヒアリング 2. 平成6年度次作業計画を作成 3. 平成7年度次作業計画を作成 4. MATRADEリソースセンター改装において、閲覧スペース。書架配置等について提言 (ポイント:レファレンスカウンターの設置、リーディングスペースの改善、資料群別書架の配置) 5. 貿易図書館として収集すべき資料をリストアップして提示 (但しビジネス環境情報の資料を中心として)
1994・4	① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言として貿易図書館として収集すべき資料を継続して提示する。ダイレクトリー及び統計類のリストの作成を予定。 List of Books to be Purchased for the Resource Center, No. 2 & 3  ② リソースセンターのレファレンスサービスに係わる指導、助言。 例えば、差し替え資料の利用法、整理法。  ③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。	マトレードリソースセンターが、貿易図書館として収集すべき資料をリストアップして提示 ① List of books containing the country profile information in the country where MATRADE offices are located. マトレード海外事務所の有る国を中心に、その国の基礎情報資料をリストアップした。 ② List of CD-ROMs 貿易情報、統計情報、企業情報のCD-ROMをリストアップ。  下記の2点について、図書館業務のアドバイス。 ① ニュースレター類の配架について。 ② 差替資料の整理作業について。

1995・1	<p>① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② リソースセンター資料のカタロギングと所蔵資料の整理方法に係わる指導・助言。</p> <p>③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。</p>	<p>① リソースセンター所蔵資料の目録” Bibliographi, June 1994”についての助言を提出。</p> <p>② 上記資料の構成、ならびにリソースセンター資料のカタロギング、所蔵資料の整理方法の基盤となる、分類法について助言。 現在、リソースセンターは、カタロギングにDDC分類法を使用しているが、これは一般図書館向けであるからして、貿易・経済図書館の特殊性を生かすよう、修正した使用方法があるのではないかと、助言した。(一例として、国連コード、DDCコード、JETROコードを比較参照した上で、国コードを独立させて使用する例をあげた。)</p>
1995・2	<p>① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② リソースセンター資料のカタロギングと所蔵資料の整理方法に係わる指導・助言。</p> <p>③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。</p>	<p>① リソースセンター所蔵資料の収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② 分類法の整備、分類法マニュアルを作成。</p>
1995・3	<p>① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② リソースセンター資料のカタロギングと所蔵資料の整理方法に係わる指導・助言。</p> <p>③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。</p>	<p>① リソースセンター所蔵資料の収集及び情報発掘等の指導・助言。 各国貿易制度情報資料リスト 各国貿易輸入業者ダイレクトリー・リスト</p> <p>② 分類法の整備、分類法マニュアルを作成。</p>
1995・4	<p>① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② リソースセンター資料のカタロギングと所蔵資料の整理方法に係わる指導・助言。</p> <p>③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。</p>	<p>リソースセンター所蔵資料の収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>① 各国貿易・経済雑誌及び統計定期刊行物収集リスト</p> <p>② 資料廃棄処分の基準についての提言</p>

1996・1	<p>① リソースセンター所蔵資料の、収集及び情報発掘等の指導・助言。</p> <p>② リソースセンター資料のカタロギングと所蔵資料の整理方法に係わる指導・助言。</p> <p>③ その他ライブラリー業務のコンサルティング。</p>	<p>① リソースセンター所蔵資料の収集及び情報発掘等の一助として、MATRADEのTCが駐在していない国の収集すべき資料をリストアップして、提示。</p> <p>② リソースセンター新着収集資料リストが発行された。国別、商品別編集とするなど構成を助言。</p> <p>③ リソースセンターのリファレンスサービスの助言。</p> <p>① コンバスダイレクトリーの使い方</p> <p>② 国連統計CommodityTradeStatisticsの使い方について</p> <p>③ EUのGSPIについて。(マレーシアの例)</p> <p>④ その他、① 平成8年度JICA供与機材としての資料の見直し。</p> <p>② カウンターパート(部長)の海外図書館見学のアレンジメント。</p>
1996・2		
1996・3		
1996・4		

分野別成果資料

1996年9月現在

分野(長期)	資料名	備考
1) 総務(久司リーダー)	講義資料: JETROの経緯	講義4回 1994年8月
2) 調査(島津専門家)	海外経済調査ガイドライン	1994年9月
	一般市場調査ガイドライン	1994年10月
	カントリーレポート・ガイドライン	1994年11月
	国別概要(提案)	1994年11月
	貿易統計分析の励め(提案)	1994年12月
	「商品別市場」調査マニュアル	1995年2月
	貿易統計検索システム: 品目分類・定義	1995年3月
	講義資料: 貿易統計検索システム	1995年4月
	"Trade Digest"寄稿: 木製家具	1995年4月
	"Trade Digest"寄稿: ゴム手袋	1995年4月
	講義資料: マーケティング論I	1995年4月(講義1回)
	講義資料: マーケティング論II&III	1995年5月(講義1回)
	MATRADE貿易統計システム案(提案)	1995年7月
	同上説明書	1995年7月
	マレーシア貿易統計のSITCコード誤謬指摘	1995年7月
	マレーシア関税率表のSITCコード誤謬指摘	1995年7月
	「市場報告をいかに出させるか」(提言)	1995年8月
	*日本における商品市場調査計画(提言)	1995年8月
	"Trade Digest"寄稿: アパレル製品	1995年9月
	*日本における商品市場調査ガイドライン	1995年9月
	"Trade Digest"寄稿: 木製建築資材	1996年1月
	*日本における木製品市場調査マニュアル	1996年1月
	「日マ貿易不均衡について」(長官への報告)	1996年1月
	MTRシステム検索出力プラン	1996年1月
	産業界の情報ニーズ・アンケート調査(提案)	1996年2月
	"Trade Digest"寄稿: 自動車用ゴム製部品	1996年3月
	「商品市場調査」(木製品)第1回検討会	1996年4月
	情報ニーズ・アンケート調査票(最終提案)	1996年4月
	*日本の木製品市場調査マニュアル(改訂)	1996年4月
	*日本の木製品市場調査(OJT資料)	1996年5月
	「商品市場調査」(OJT資料)	1996年5月
	「商品別市場」調査マニュアル(改訂版)	1996年5月
	MATRADEホームページ: 「貿易の概要」プラン	1996年6月
	「商品別市場」海外調査プラン(提案)	1996年7月
	情報ニーズ・アンケート調査(結果のまとめ)	1996年7月
	*日本における商品市場調査に関するコメント	1996年8月
	井上専門家によるマーケティング指導コメント	1996年8月
	「商品別市場」調査マニュアル(三訂版)	1996年8月



分野(長期)	資料名	備考
4) ライブラリー (吉川専門家)	リソースセンター改装プラン	PENS図書資料室改装' 94年12月
	図書資料収集リスト 1)	1995年1月
	図書資料収集リスト 2)	1995年
	図書資料収集リスト (CD-ROM)	1995年
	図書分類提案	1995年
	提案: ニュースレター分類	1995年
	提案: バインダー資料の処理	1995年
	提案: 収集資料の分類	1995年8月
	図書資料収集リスト 3)	
	貿易制度手続き関係資料	1995年10月
	図書資料収集リスト 4)	
	貿易輸入業者リスト	1995年10月
	図書資料収集リスト	
	定期刊行物 (統計・業界誌)	1996年4月
	提案: 資料廃棄処分基準	1996年2月
	提案: 商品別資料分類の商品コード	1996年4月
	ブリーフィング資料:	
	ディレクトリー-KOMPASSの使い方	1996年4月
	ブリーフィング資料:	
	国連統計 (Commodity Trade Statistics) につて)	1996年4月
	ブリーフィング資料:	
	EU: GSP (特惠関税) について	1996年6月
	図書資料収集リスト 5)	
T/C が駐在していない国を対象として	1996年6月	











JICA